

医療機関名	日本赤十字社 松山赤十字病院
施設基本情報	
所在地	松山市文京町1番地
病床数	632床(一般:629床、感染症:3床)
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31
データ収集期間	2020.01.01～2020.12.31(2020年診断症例)
平均在院日数	11.1日
入院患者のべ数	183,142人
外来患者のべ数	370,734人
院内がん登録件数	1,666件
院内がん登録件数 上位3部位 (症例区分 80を除く)	大腸:238件 肺:202件 血液腫瘍:197件
実務者のうち「院内がん登録実務研修」修了者	初級者2名、中級者3名(2021年1月現在)
診療科	<p>高血圧内科 総合内科 肝胆膵内科 消化管内科 腎臓内科 小児科 産婦人科 外科 血管外科 乳腺外科 臨床腫瘍科 整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科 泌尿器科 耳鼻咽喉科 眼科 皮膚科 形成外科 麻酔科 放射線診断科 放射線治療科 精神科・心療内科 歯科口腔外科 病理診断科 循環器内科 心臓血管外科 呼吸器内科 呼吸器外科 脳神経内科 脳神経外科</p> <p>【全31科】(2021年1月現在)</p>
 <p>担当医療圏：松山圏域 八幡浜・大洲圏域</p> <p>担当医療圏における患者住所の割合： 94.8%</p> <p>県内担当医療圏外の割合： 4.8%</p> <p>県外患者住所の割合： 0.4%</p>	

松山赤十字病院は、2007 年「がん診療連携拠点病院」に認定され、その役割を果たすため、2011 年 4 月に、がん診療体制の充実・強化を図るため院長直轄の部門として『がん診療推進室』を設置し、各部門のスタッフが恒常的に情報交換・連携することができる、患者さんを中心とした「チーム医療」を実践しています。

当院における院内がん登録 2020 年症例総件数は、1,666 件（前年：1,860 件）で 194 件減少でした。部位別登録件数では、部位別の多くは減少しています。特に検診で見つかることが多い、胃、前立腺、子宮頸部の登録数の減少は、新型コロナウイルス感染症の流行下における患者さんの検診控え、受診控えの影響も考えられます。症例区分では、経年的にみて『自施設診断・自施設初回治療開始』の割合が、愛媛県の平均値 59.6% と比べ当院は 78.3% と高い割合を示しています。初回治療の過程における当院が果たした役割はきわめて大きかったといえます。診断時住所では、担当医療圏である松山医療圏、八幡浜・大洲医療圏を併せると 94.9% を占めています。中でも松山市の登録数が最も多く 78.2% (1,291 件) です。年齢階級別では、愛媛県全体と比べると 70 歳以上の高齢患者の占める割合が高い傾向にあります。このことから、松山市を中心とした地域に密着したがん医療を提供していることがわかります。また、高血圧、糖尿病、心・肺・肝・腎疾患、脳血管疾患など合併症を持つリスクの高い高齢の患者さんを多く診療しています。

当院の近況については、2019 年 4 月からロボット支援下手術を泌尿器科から開始し、外科、産婦人科、呼吸器外科と拡大しております。外科においては、直腸癌治療にロボット支援下手術を導入しました。また、2020 年 1 月から「がんゲノム医療連携病院」の指定を受け、更なる医療体制の充実を図り、これを隈なく提供できるよう常に心がけています。

当院のがん診療の役割として、手術、化学療法、放射線療法及び免疫療法の各分野で最新の高度専門医療を提供できる体制で取り組み、併せて地域医療支援病院の 1 つでもある当院は、これまで以上に地域のかかりつけの先生方と密接に連携をとり、医療ネットワークを駆使し「がんになっても安心して暮らせる地域」の構築に貢献してまいります。

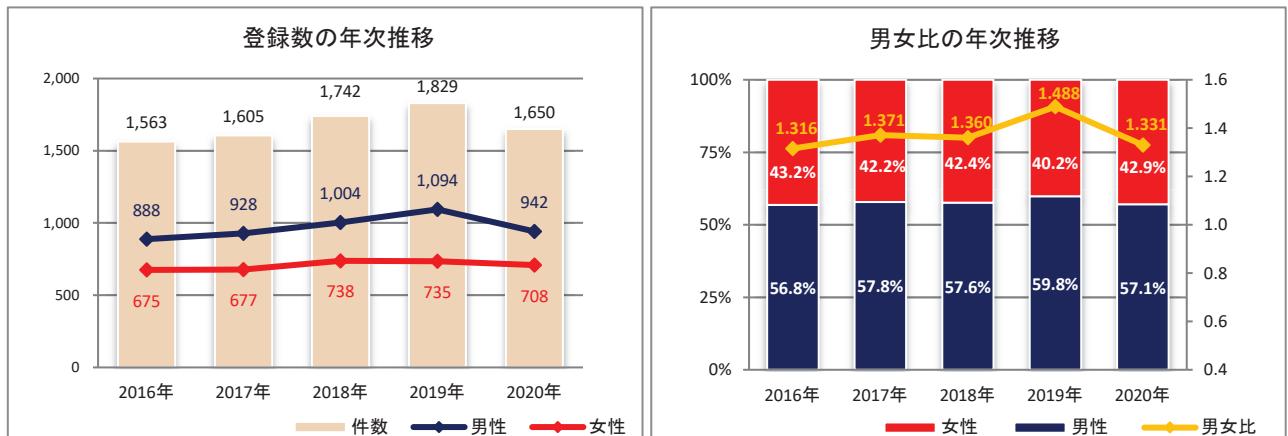
松山赤十字病院 がん診療推進室長 西崎 隆

1. 年次推移と部位別登録数

1-1. 登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
【症例区分8.80を含む】	件数	(%)								
全体	1,579		1,617		1,774		1,860		1,666	
男性	899	(56.9%)	931	(57.6%)	1,024	(57.7%)	1,110	(59.7%)	951	(57.1%)
女性	680	(43.1%)	686	(42.4%)	750	(42.3%)	750	(40.3%)	715	(42.9%)
全般	1,563		1,605		1,742		1,829		1,650	
男性	888	(56.8%)	928	(57.8%)	1,004	(57.6%)	1,094	(59.8%)	942	(57.1%)
女性	675	(43.2%)	677	(42.2%)	738	(42.4%)	735	(40.2%)	708	(42.9%)
男女比	1.316		1.371		1.360		1.488		1.331	

*男女比は女性を1としたときの男性の比率



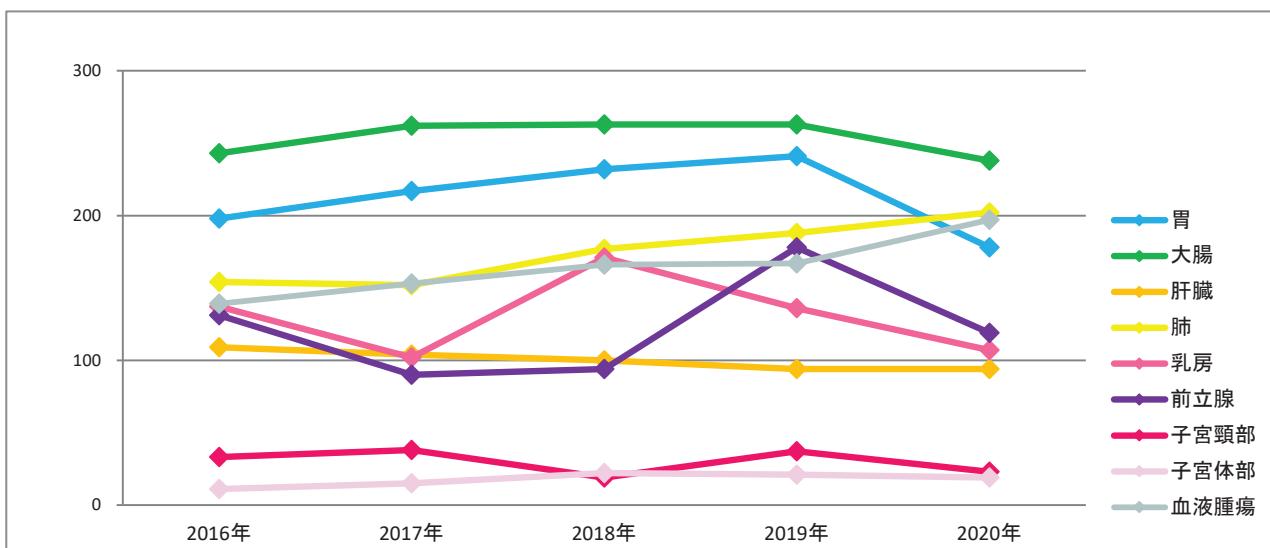
1-2. 登録数の年次推移(部位別)

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
口腔・咽頭	41	(2.6%)	36	(2.2%)	43	(2.5%)	38	(2.1%)	52	(3.2%)
食道	26	(1.7%)	25	(1.6%)	30	(1.7%)	27	(1.5%)	35	(2.1%)
胃	198	(12.7%)	217	(13.5%)	232	(13.3%)	241	(13.2%)	178	(10.8%)
結腸	177	(11.3%)	177	(11.0%)	175	(10.0%)	169	(9.2%)	165	(10.0%)
直腸	66	(4.2%)	85	(5.3%)	88	(5.1%)	94	(5.1%)	73	(4.4%)
肝臓	109	(7.0%)	104	(6.5%)	100	(5.7%)	94	(5.1%)	94	(5.7%)
胆嚢・胆管	31	(2.0%)	32	(2.0%)	41	(2.4%)	34	(1.9%)	38	(2.3%)
脾臓	53	(3.4%)	55	(3.4%)	82	(4.7%)	70	(3.8%)	77	(4.7%)
喉頭	(1~3)	--	(7~9)	--	11	(0.6%)	(7~9)	--	(7~9)	--
肺	154	(9.9%)	152	(9.5%)	177	(10.2%)	188	(10.3%)	202	(12.2%)
骨・軟部	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--	(4~6)	--
皮膚(黒色腫を含む)	52	(3.3%)	79	(4.9%)	73	(4.2%)	76	(4.2%)	48	(2.9%)
乳房	137	(8.8%)	102	(6.4%)	171	(9.8%)	136	(7.4%)	107	(6.5%)
子宮頸部	33	(2.1%)	38	(2.4%)	19	(1.1%)	37	(2.0%)	23	(1.4%)
子宮体部	11	(0.7%)	15	(0.9%)	22	(1.3%)	21	(1.1%)	19	(1.2%)
子宮	0	--	0	--	0	--	0	--	0	--
卵巣	15	(1.0%)	17	(1.1%)	22	(1.3%)	15	(0.8%)	21	(1.3%)
前立腺	131	(8.4%)	90	(5.6%)	94	(5.4%)	178	(9.7%)	119	(7.2%)
膀胱	60	(3.8%)	69	(4.3%)	62	(3.6%)	81	(4.4%)	75	(4.5%)
腎・他の尿路	49	(3.1%)	55	(3.4%)	49	(2.8%)	49	(2.7%)	36	(2.2%)
脳・中枢神経系	20	(1.3%)	37	(2.3%)	30	(1.7%)	33	(1.8%)	25	(1.5%)
甲状腺	14	(0.9%)	17	(1.1%)	10	(0.6%)	28	(1.5%)	21	(1.3%)
悪性リンパ腫	80	(5.1%)	76	(4.7%)	77	(4.4%)	73	(4.0%)	98	(5.9%)
多発性骨髄腫	10	(0.6%)	20	(1.2%)	20	(1.1%)	14	(0.8%)	13	(0.8%)
白血病	22	(1.4%)	31	(1.9%)	33	(1.9%)	37	(2.0%)	48	(2.9%)
他の造血器腫瘍	27	(1.7%)	26	(1.6%)	36	(2.1%)	43	(2.4%)	38	(2.3%)
その他	43	(2.8%)	41	(2.6%)	42	(2.4%)	44	(2.4%)	33	(2.0%)
合計	1,563		1,605		1,742		1,829		1,650	

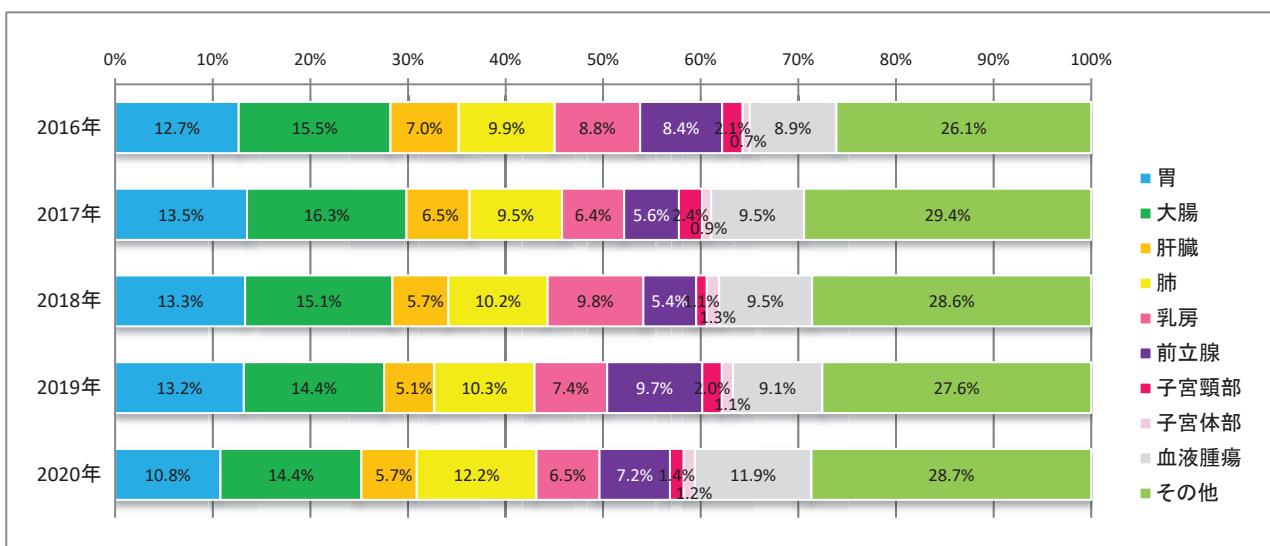
*説明ポイント① 2020年診断症例は前年と比べ、登録件数が減少している

*説明ポイント② 部位別登録件数では、肺、血液腫瘍の登録件数が増加し、胃、前立腺が減少

1-3. 部位別登録数の推移

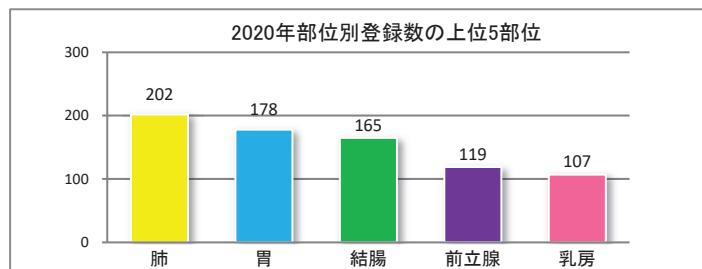


1-4. 登録数の部位別の割合



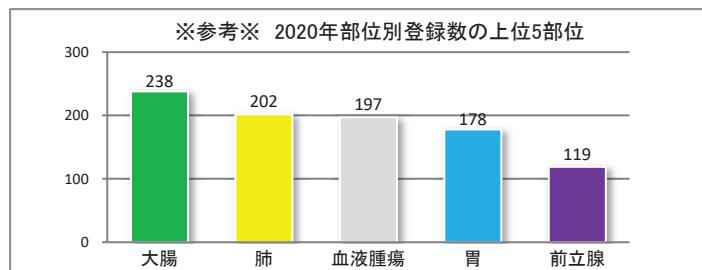
1-5. 部位別登録数の上位5部位

順位	2019年		2020年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	胃	241	肺	202
2	肺	188	胃	178
3	前立腺	178	結腸	165
4	結腸	169	前立腺	119
5	乳房	136	乳房	107



※参考※ 結腸・直腸の合計を『大腸』、子宮頸部・子宮体部・子宮NOSの合計を『子宮』、悪性リンパ腫・多発性骨髄腫・白血病・他の血液腫瘍の合計を『血液腫瘍』としてまとめた場合の上位5部位

順位	2019年		2020年	
	部位名	件数	部位名	件数
1	大腸	263	大腸	238
2	胃	241	肺	202
3	肺	188	血液腫瘍	197
4	前立腺	178	胃	178
5	血液腫瘍	167	前立腺	119

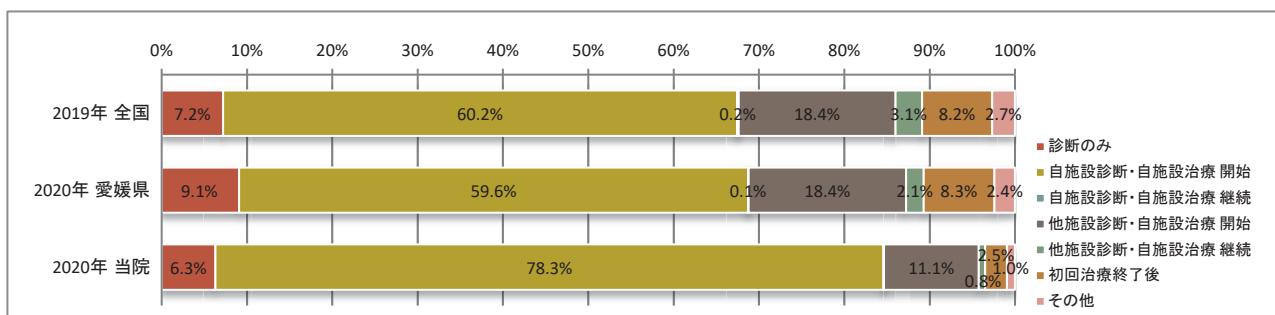


2. 症例区分

2-1. 症例区分(症例区分80を含む)

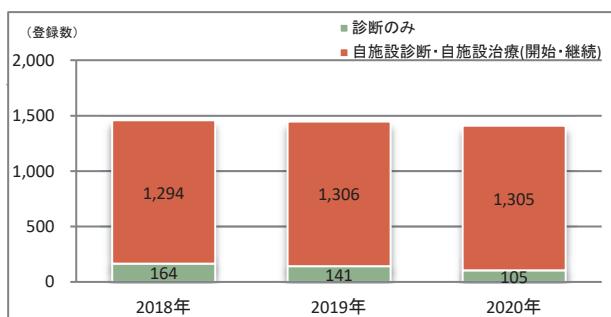
	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
診断のみ	164	(9.2%)	141	(7.6%)	105	(6.3%)
自施設診断・自施設治療 開始	1,293	(72.9%)	1,305	(70.2%)	1,304	(78.3%)
自施設診断・自施設治療 繼続	(1~3)	--	(1~3)	--	(1~3)	--
他施設診断・自施設治療 開始	223	(12.6%)	258	(13.9%)	185	(11.1%)
他施設診断・自施設治療 繼続	13	(0.7%)	15	(0.8%)	13	(0.8%)
初回治療終了後	48	(2.7%)	109	(5.9%)	42	(2.5%)
その他	32	(1.8%)	31	(1.7%)	16	(1.0%)

2-2. 症例区分 愛媛県全体・全国値との比較(症例区分80を含む)



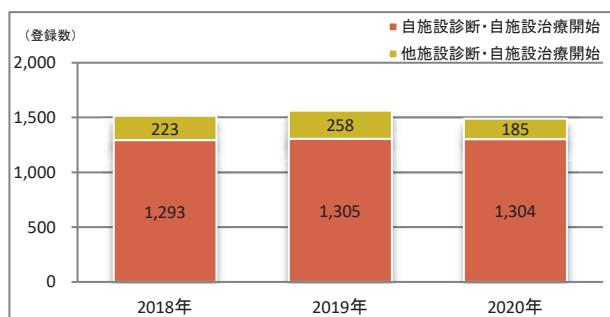
2-3. 自施設でがんと診断した症例の年次推移

(診断のみ、自施設診断・自施設治療開始、自施設診断・自施設治療継続)



2-4. 自施設初回治療開始症例の年次推移

(自施設診断・自施設治療開始、他施設診断・自施設治療開始)



2-5. 2020年診断の症例区分の診断施設・治療施設マトリクス(症例区分80を含む)

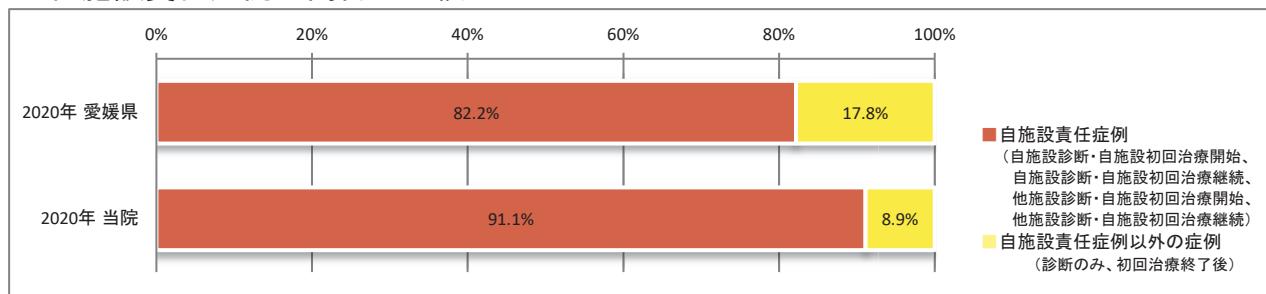
診断施設 治療施設	自施設診断		他施設診断	
	(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診後に行われた症例)		(当該腫瘍について“がん”と診断された最も確かと考えられる検査が自施設初診前にすでに行われていた症例)	
自施設で初回治療せず	<診断のみ>	105	<その他>	13
自施設で初回治療開始	<自施設診断・自施設治療開始>	1,304	<他施設診断・自施設治療開始>	185
初回治療継続	<自施設診断・自施設治療継続>	(1~3)	<他施設診断・自施設治療継続>	13
初回治療終了後	<初回治療終了後>	0	<初回治療終了後、その他>	44
その他	<その他>	(1~3)	<その他>	0

※表中の<>は診断施設・治療施設から選択される症例区分

*説明ポイント③ 愛媛県全体・全国値と比較し、自施設診断・自施設初回治療の割合が高い

*説明ポイント④ 部位別の自施設責任症例の割合は胃が高い割合を示す

2-6. 自施設責任症例の割合の比較

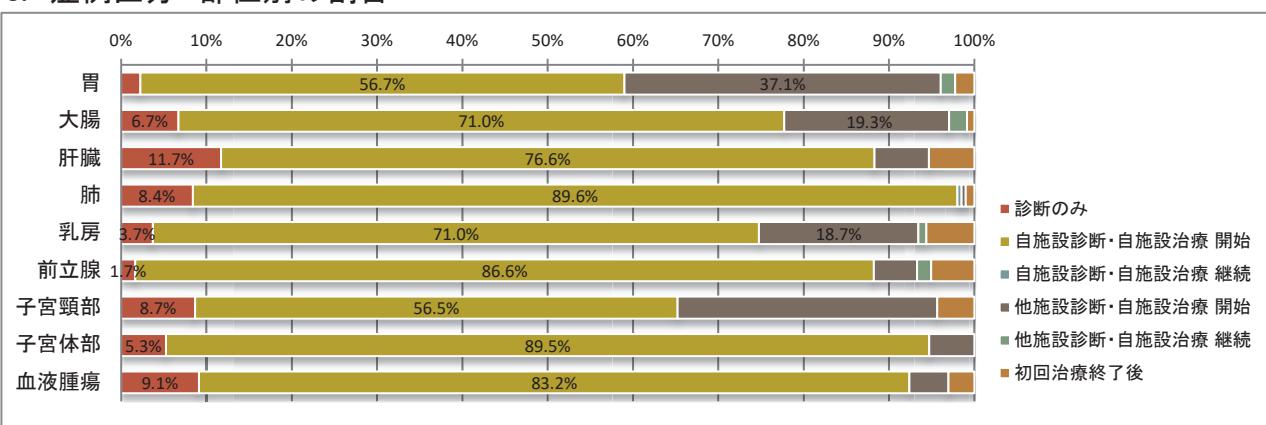


2-7. 症例区分 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
診断のみ	(4~6) --	16 (6.7%)	11 (11.7%)	17 (8.4%)	(4~6) --
自施設診断・自施設治療 開始	101 (56.7%)	169 (71.0%)	72 (76.6%)	181 (89.6%)	76 (71.0%)
自施設診断・自施設治療 継続	0 --	0 --	0 --	(1~3) --	0 --
他施設診断・自施設治療 開始	66 (37.1%)	46 (19.3%)	(4~6) --	(1~3) --	20 (18.7%)
他施設診断・自施設治療 継続	(1~3) --	(4~6) --	0 --	0 --	(1~3) --
初回治療終了後	(4~6) --	(1~3) --	(4~6) --	(1~3) --	(4~6) --

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
診断のみ	(1~3) --	(1~3) --	(1~3) --	18 (9.1%)
自施設診断・自施設治療 開始	103 (86.6%)	13 (56.5%)	17 (89.5%)	164 (83.2%)
自施設診断・自施設治療 継続	0 --	0 --	0 --	0 --
他施設診断・自施設治療 開始	(4~6) --	(7~9) --	(1~3) --	(7~9) --
他施設診断・自施設治療 継続	(1~3) --	0 --	0 --	0 --
初回治療終了後	(4~6) --	(1~3) --	0 --	(4~6) --

2-8. 症例区分 部位別の割合



2-9. 症例区分 部位別の責任症例の割合



3. 診断時住所別

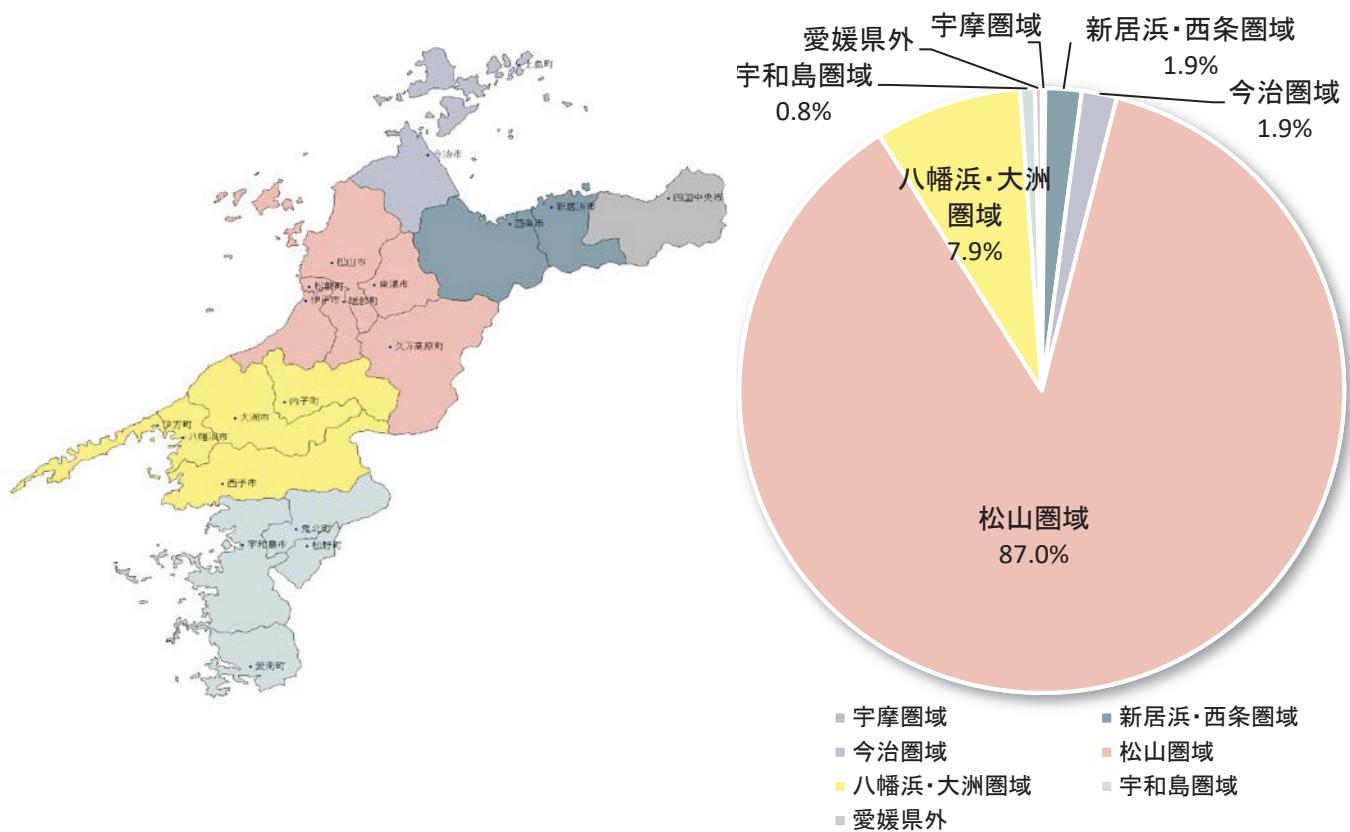
3-1. 診断時住所別

医療圏	登録数 件数	登録割合 (%)	市郡・県外	町村	登録数 件数
宇摩圏域	(1~3)	(0.2%)	四国中央市		(1~3)
新居浜・西条圏域	32	(1.9%)	新居浜市 西条市		12 20
今治圏域	31	(1.9%)	今治市 越智郡	(上島町)	31 0
松山圏域	1,435	(87.0%)	松山市 伊予市 東温市 上浮穴郡 伊予郡	(久万高原町) (松前町、砥部町)	1,291 65 (7~9) 11 61
八幡浜・大洲圏域	130	(7.9%)	八幡浜市 大洲市 西予市 喜多郡 西宇和郡	(内子町) (伊方町)	21 57 20 24 (7~9)
宇和島圏域	13	(0.8%)	宇和島市 北宇和郡 南宇和郡		(7~9) (1~3) (4~6)
愛媛県外	(4~6)	(0.4%)	高知県 香川県 徳島県 その他		(4~6) (1~3) 0 (1~3)
				合計(全登録数)	1,650

担当医療圏

全登録数に占める担当
医療圏の登録数割合
(担当医療圏登録数/全登録数)

94.8%

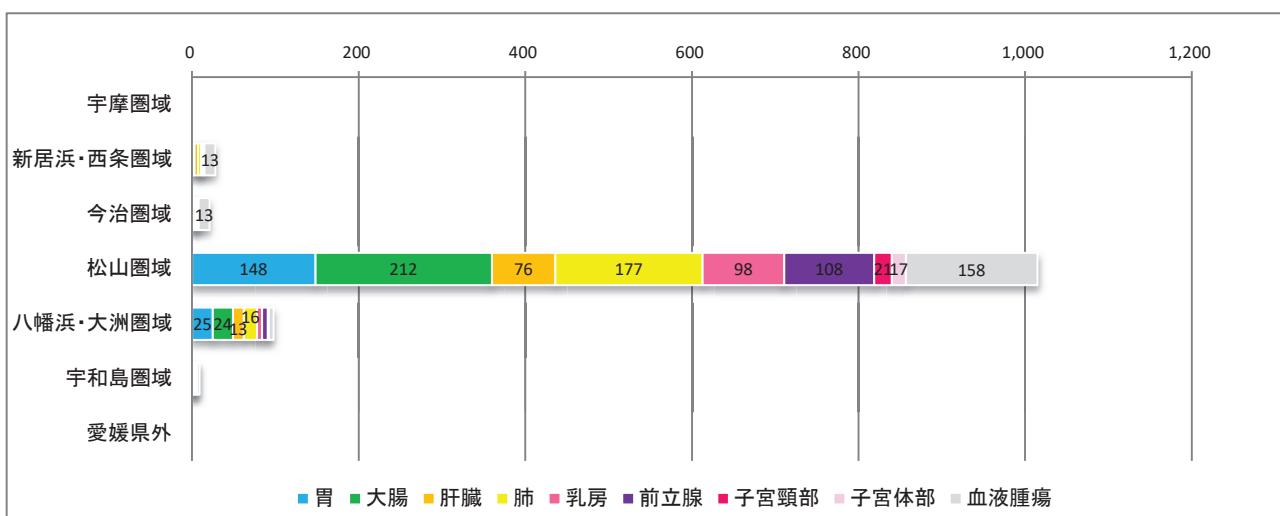


*説明ポイント⑤ 担当医療圏の登録割合が高い

*説明ポイント⑥ 医療圏別部位別の登録件数は、松山医療圏が最も多い

3-2. 診断時住所(医療圏域)別部位別の登録数

医療圏	胃	大腸	肝臓	肺	乳房	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数								
宇摩圏域	0	0	0	0	0	0	0	0	(1~3)
新居浜・西条圏域	(1~3)	(1~3)	(4~6)	(4~6)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	13
今治圏域	(1~3)	0	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	13
松山圏域	148	212	76	177	98	108	21	17	158
八幡浜・大洲圏域	25	24	13	16	(4~6)	(7~9)	0	(1~3)	(4~6)
宇和島圏域	(1~3)	0	(1~3)	(1~3)	(1~3)	(1~3)	0	0	(1~3)
愛媛県外	0	(1~3)	0	0	0	0	0	(1~3)	(1~3)
部位別合計	178	238	94	202	107	119	23	19	197
部位別の登録数に占める担当医療圏の登録割合 (担当医療圏登録数/登録数)	97.2%	99.2%	94.7%	95.5%	97.2%	96.6%	91.3%	94.7%	83.2%



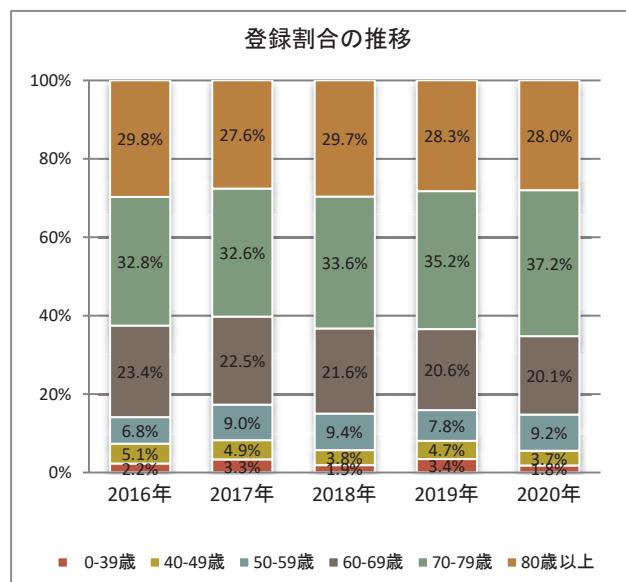
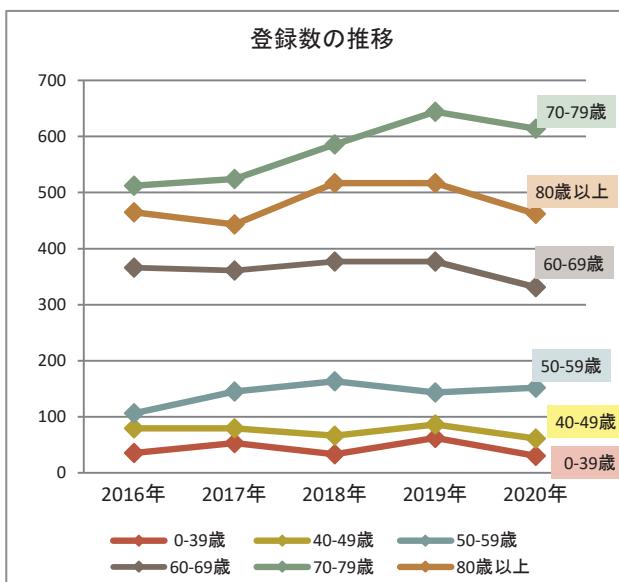
3-3. 部位別医療圏域別の登録割合



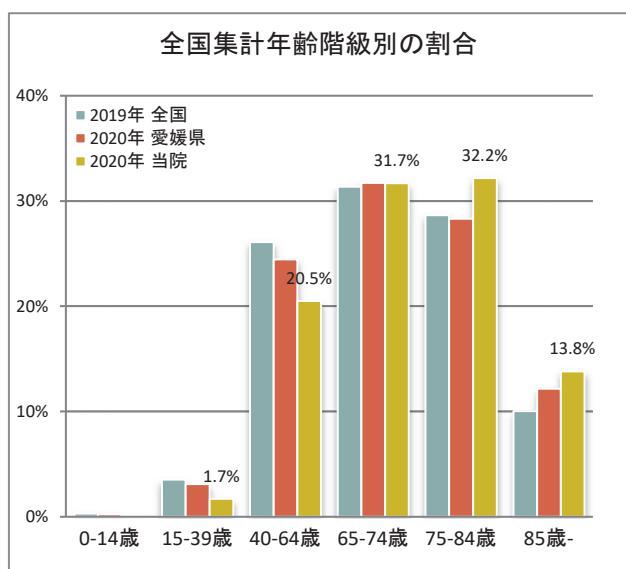
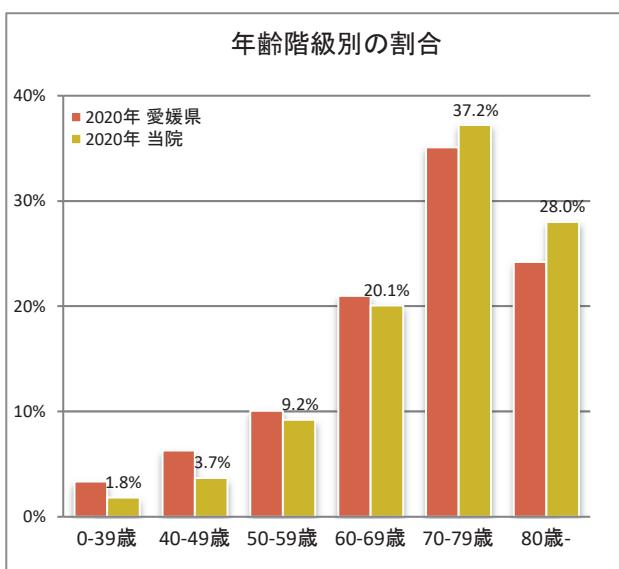
4. 年齢の割合

4-1. 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
0-39歳	35	(2.2%)	53	(3.3%)	33	(1.9%)	62	(3.4%)	30	(1.8%)
40-49歳	79	(5.1%)	79	(4.9%)	66	(3.8%)	86	(4.7%)	61	(3.7%)
50-59歳	106	(6.8%)	145	(9.0%)	163	(9.4%)	143	(7.8%)	152	(9.2%)
60-69歳	366	(23.4%)	361	(22.5%)	377	(21.6%)	377	(20.6%)	331	(20.1%)
70-79歳	512	(32.8%)	524	(32.6%)	586	(33.6%)	644	(35.2%)	614	(37.2%)
80歳-	465	(29.8%)	443	(27.6%)	517	(29.7%)	517	(28.3%)	462	(28.0%)



4-2. 年齢階級別登録割合 愛媛県全体・全国値との比較

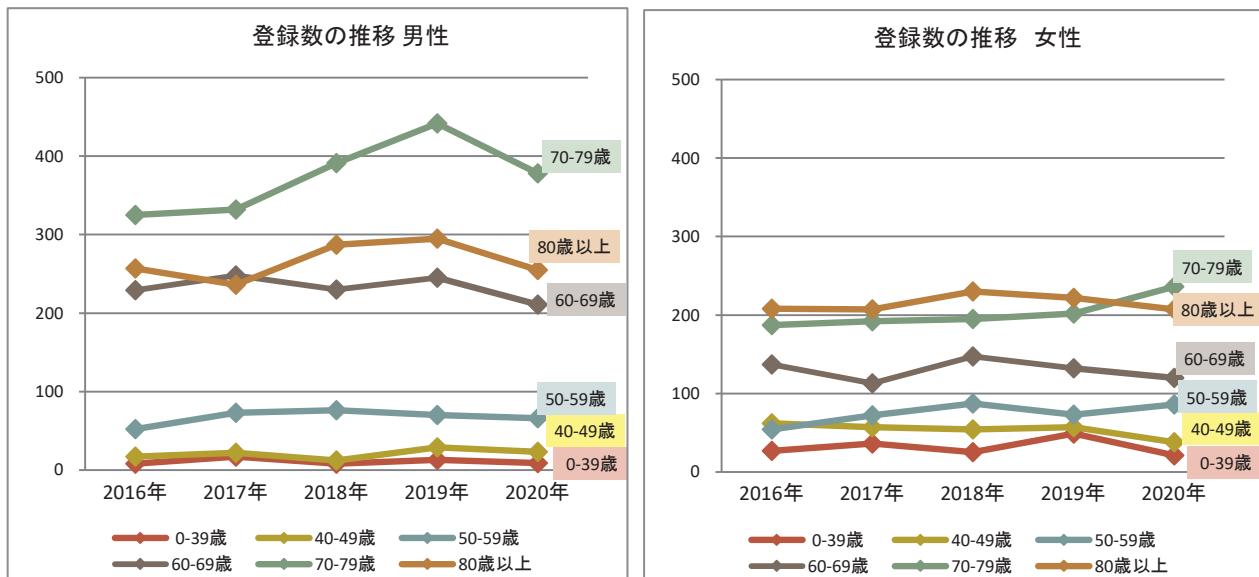


*説明ポイント⑦ 年齢階級別登録数の年次推移は、各年齢階級(50-59歳除く)減少している

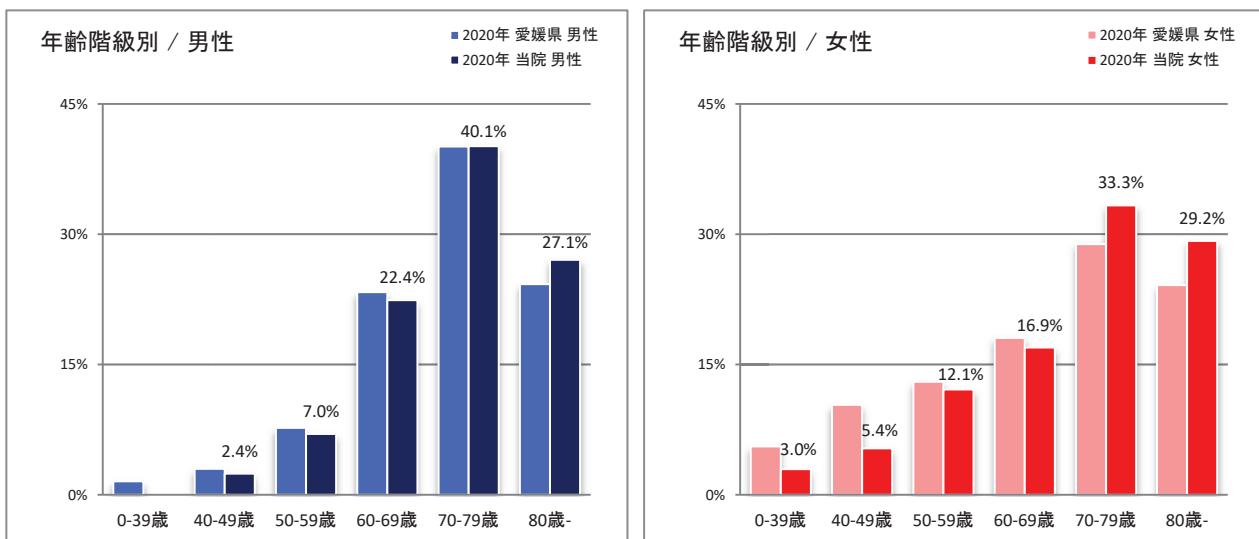
*説明ポイント⑧ 男女別年齢階級別登録年次推移では、男性は各年齢階級で登録数の減少がみられた

4-3. 男女別 年齢階級別登録数の年次推移

診断年	2016年		2017年		2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)								
男性										
0-39歳	(7~9)	--	17	(1.8%)	(7~9)	--	13	(1.2%)	(7~9)	--
40-49歳	17	(1.9%)	22	(2.4%)	12	(1.2%)	29	(2.7%)	23	(2.4%)
50-59歳	52	(5.9%)	73	(7.9%)	76	(7.6%)	70	(6.4%)	66	(7.0%)
60-69歳	229	(25.8%)	248	(26.7%)	230	(22.9%)	245	(22.4%)	211	(22.4%)
70-79歳	325	(36.6%)	332	(35.8%)	391	(38.9%)	442	(40.4%)	378	(40.1%)
80歳-	257	(28.9%)	236	(25.4%)	287	(28.6%)	295	(27.0%)	255	(27.1%)
女性	件数	(%)								
0-39歳	27	(4.0%)	36	(5.3%)	25	(3.4%)	49	(6.7%)	21	(3.0%)
40-49歳	62	(9.2%)	57	(8.4%)	54	(7.3%)	57	(7.8%)	38	(5.4%)
50-59歳	54	(8.0%)	72	(10.6%)	87	(11.8%)	73	(9.9%)	86	(12.1%)
60-69歳	137	(20.3%)	113	(16.7%)	147	(19.9%)	132	(18.0%)	120	(16.9%)
70-79歳	187	(27.7%)	192	(28.4%)	195	(26.4%)	202	(27.5%)	236	(33.3%)
80歳-	208	(30.8%)	207	(30.6%)	230	(31.2%)	222	(30.2%)	207	(29.2%)



4-4. 男女別 年齢階級別登録割合 愛媛県全体との比較

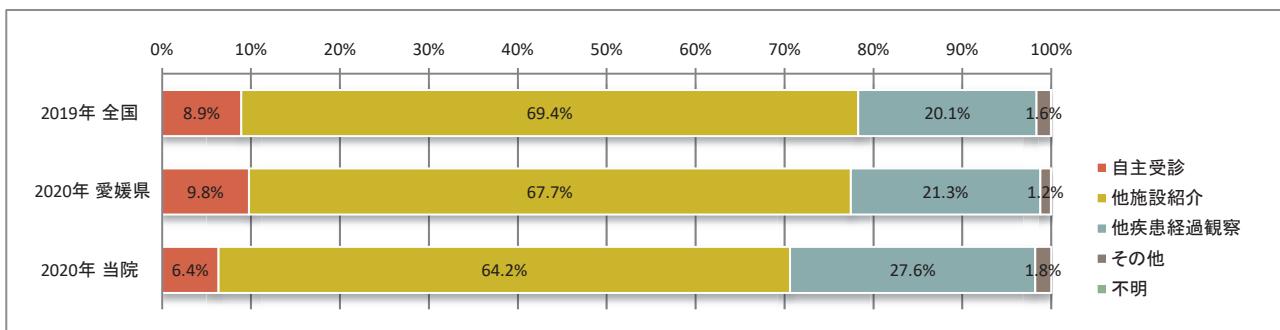


5. 来院経路

5-1. 来院経路

	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
自主受診	147	(8.4%)	145	(7.9%)	105	(6.4%)
他施設紹介	1,106	(63.5%)	1,133	(61.9%)	1,060	(64.2%)
他疾患経過観察	455	(26.1%)	519	(28.4%)	455	(27.6%)
その他	34	(2.0%)	32	(1.7%)	30	(1.8%)
不明	0	--	0	--	0	--

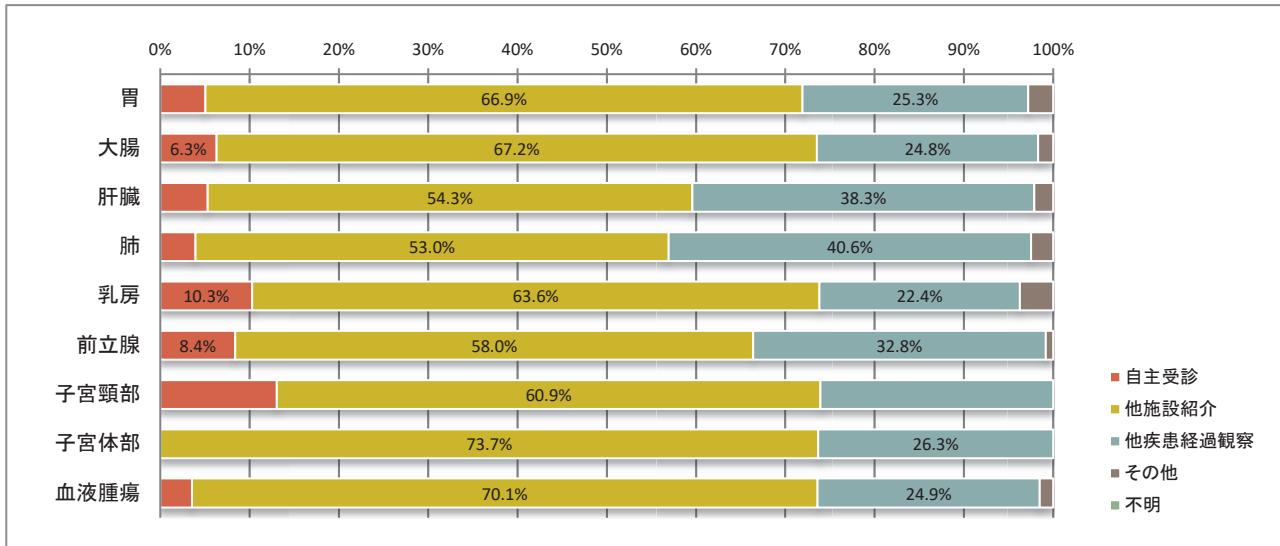
5-2. 来院経路 愛媛県全体・全国値との比較



5-3. 来院経路 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	(7~9) --	15 (6.3%)	(4~6) --	(7~9) --	11 (10.3%)
他施設紹介	119 (66.9%)	160 (67.2%)	51 (54.3%)	107 (53.0%)	68 (63.6%)
他疾患経過観察	45 (25.3%)	59 (24.8%)	36 (38.3%)	82 (40.6%)	24 (22.4%)
その他	(4~6) --	(4~6) --	(1~3) --	(4~6) --	(4~6) --
不明	0 --	0 --	0 --	0 --	0 --

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
自主受診	10 (8.4%)	(1~3) --	0 --	(7~9) --
他施設紹介	69 (58.0%)	14 (60.9%)	14 (73.7%)	138 (70.1%)
他疾患経過観察	39 (32.8%)	(4~6) --	(4~6) --	49 (24.9%)
その他	(1~3) --	0 --	0 --	(1~3) --
不明	0 --	0 --	0 --	0 --



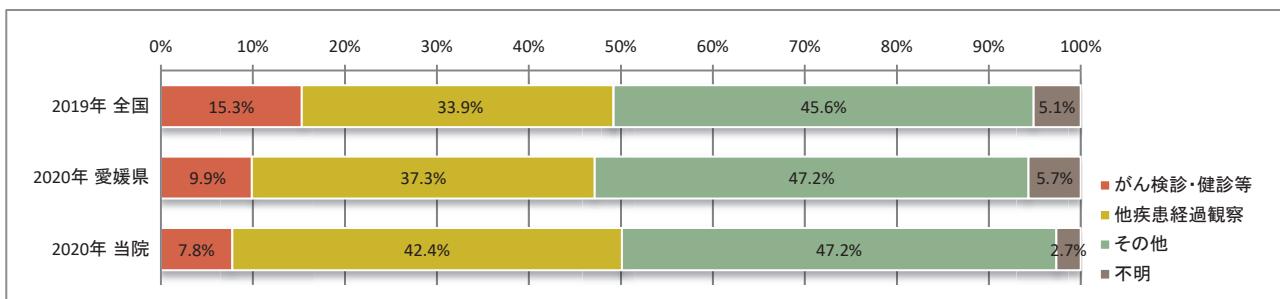
*説明ポイント⑨ 来院経路では他施設紹介の登録件数が減少している

6. 発見経緯

6-1. 発見経緯

	2018年		2019年		2020年	
	件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
がん検診・健康診断 ・人間ドック	178	(10.2%)	172	(9.4%)	128	(7.8%)
他疾患経過観察	689	(39.6%)	786	(43.0%)	699	(42.4%)
剖検発見	0	--	0	--	0	--
その他	823	(47.2%)	788	(43.1%)	779	(47.2%)
不明	52	(3.0%)	83	(4.5%)	44	(2.7%)

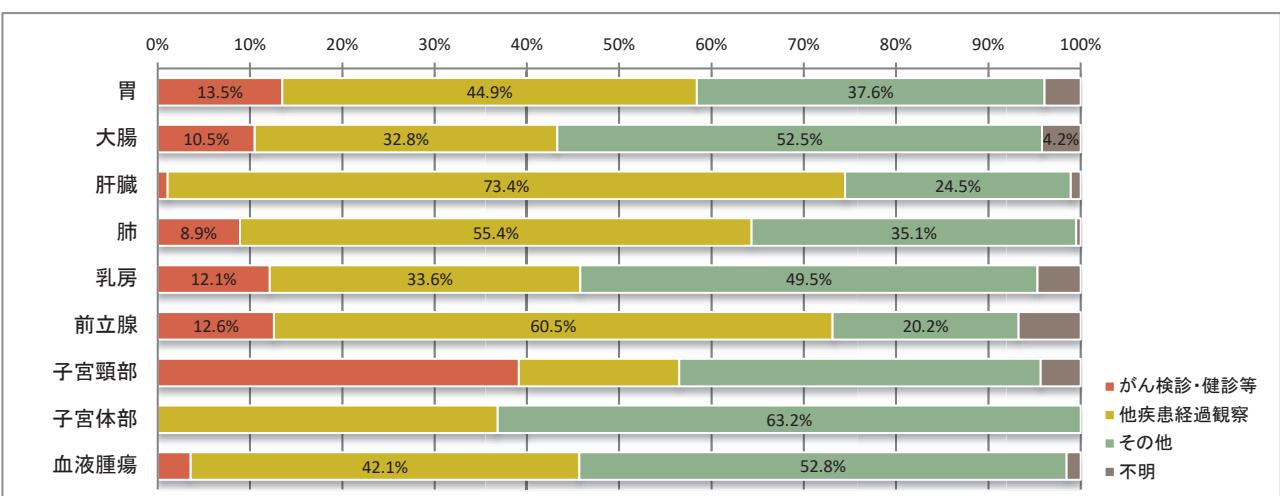
6-2. 発見経緯 愛媛県全体・全国値との比較



6-3. 発見経緯 部位別

	胃	大腸	肝臓	肺	乳房
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
がん検診・健康診断・人間ドック	24 (13.5%)	25 (10.5%)	(1~3) --	18 (8.9%)	13 (12.1%)
他疾患経過観察	80 (44.9%)	78 (32.8%)	69 (73.4%)	112 (55.4%)	36 (33.6%)
剖検発見	0 --	0 --	0 --	0 --	0 --
その他	67 (37.6%)	125 (52.5%)	23 (24.5%)	71 (35.1%)	53 (49.5%)
不明	(7~9) --	10 (4.2%)	(1~3) --	(1~3) --	(4~6) --

	前立腺	子宮頸部	子宮体部	血液腫瘍
	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)	件数 (%)
がん検診・健康診断・人間ドック	15 (12.6%)	(7~9) --	0 --	(7~9) --
他疾患経過観察	72 (60.5%)	(4~6) --	(7~9) --	83 (42.1%)
剖検発見	0 --	0 --	0 --	0 --
その他	24 (20.2%)	(7~9) --	12 (63.2%)	104 (52.8%)
不明	(7~9) --	(1~3) --	0 --	(1~3) --

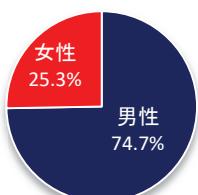


*説明ポイント⑩ 発見経緯ではがん検診・健康診断・人間ドックの登録件数と割合が減少している

7-1. 部位別: 胃

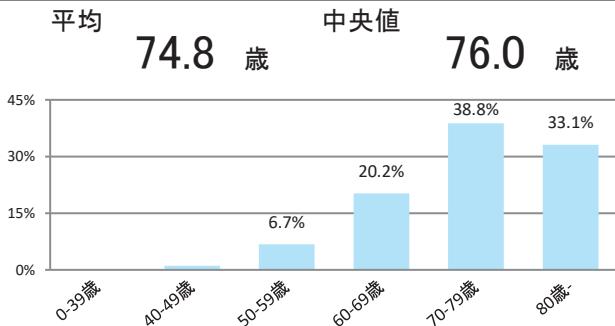
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	178
男性	133
女性	45



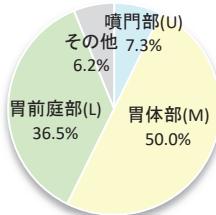
当院全登録数に占める胃がんの割合 10.8%

3. 年齢

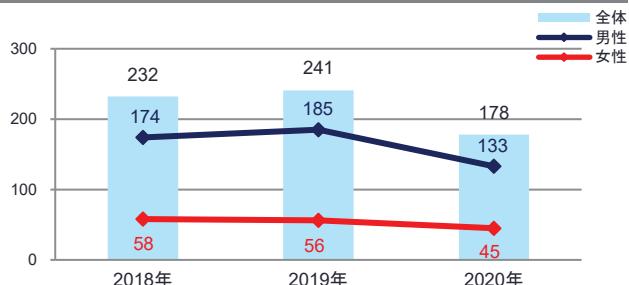


5. 詳細部位別登録数

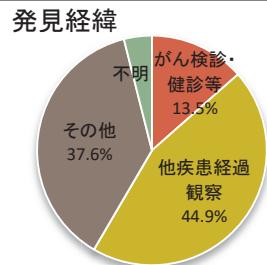
局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C16.0	噴門	11	C16.5	胃小彎	0
C16.1	胃底部	(1~3)	C16.6	胃大彎	0
C16.2	胃体部	89	C16.8	胃の境界部	0
C16.3	胃前庭部	58	C16.9	胃NOS	11
C16.4	幽門	(7~9)			



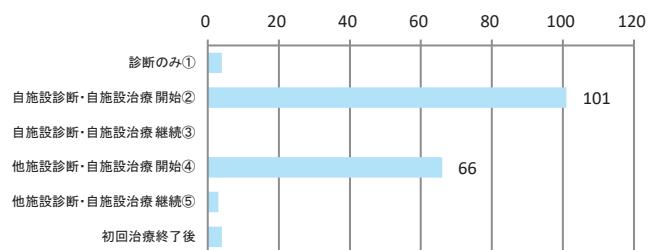
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



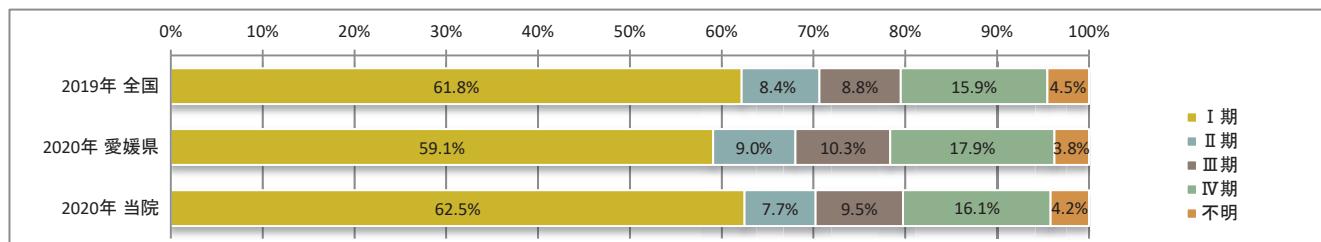
6. 症例区分



登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	170
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	105

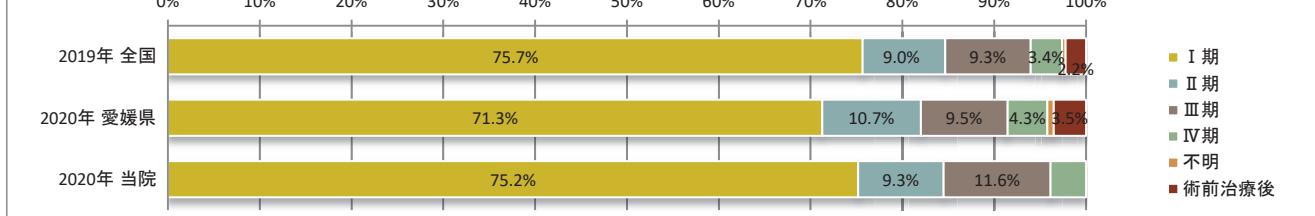
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
	件数	105	13	16	27	(7~9)	168
割合	62.5%	7.7%	9.5%	16.1%	--		



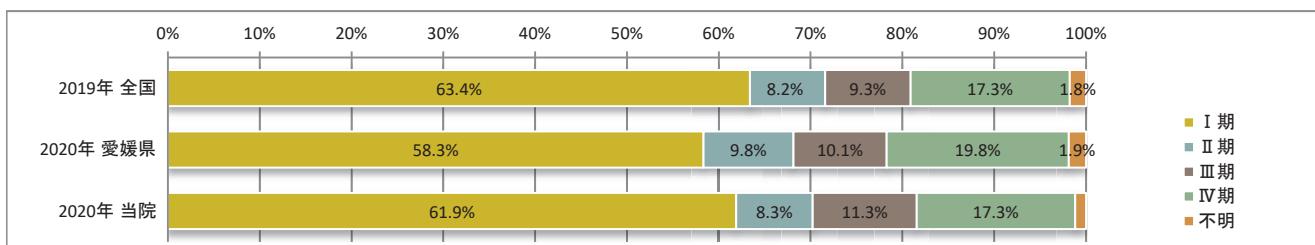
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
	件数	97	12	15	(4~6)	0	0
割合	75.2%	9.3%	11.6%	--	--	--	
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	0	--	129
割合	--	--	--	--	--	--	



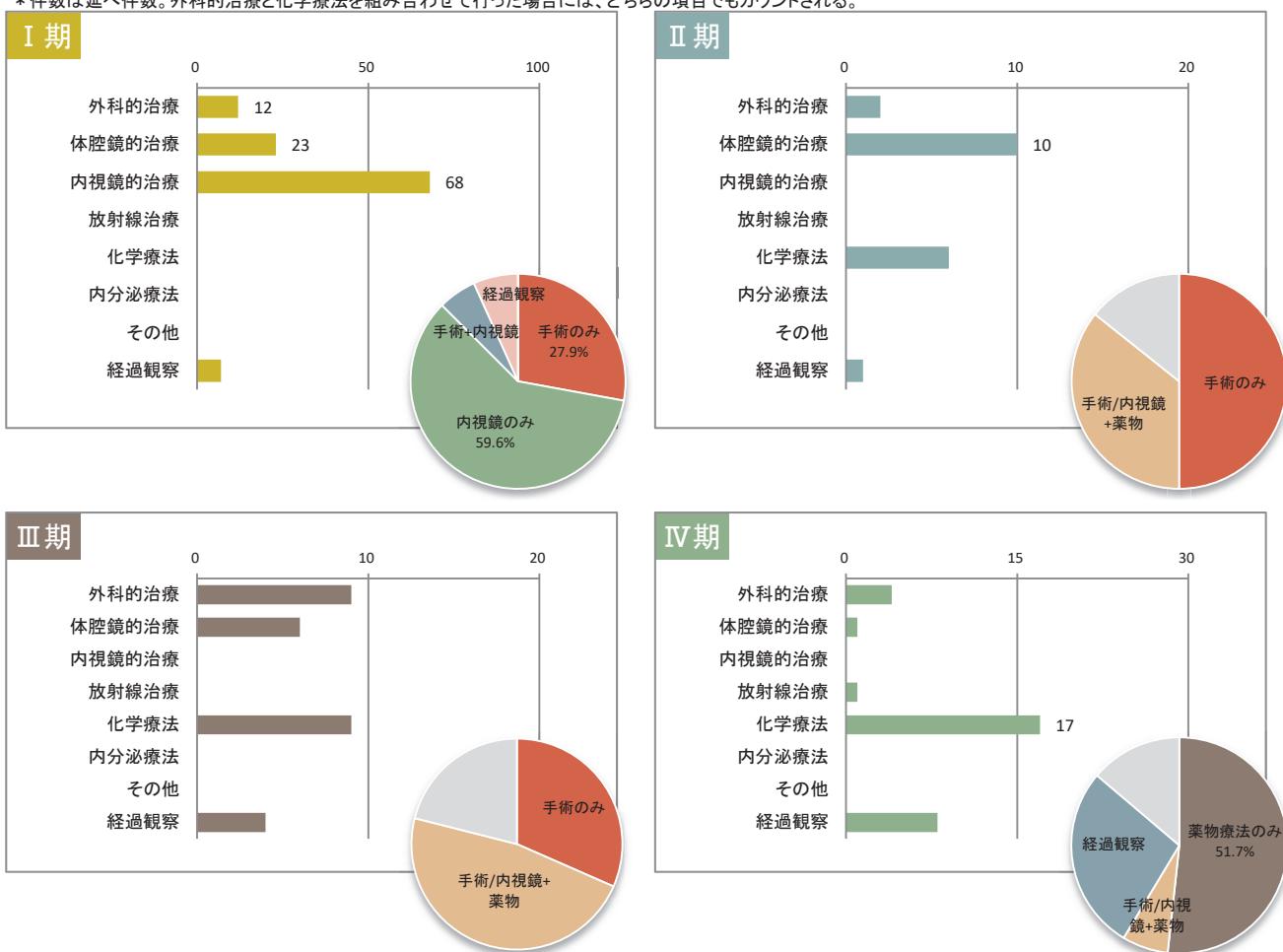
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

年	0期	合計					
		I期	II期	III期	IV期	不明	合計
2020年		104	14	19	29	(1~3)	168
		61.9%	8.3%	11.3%	17.3%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

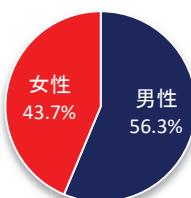
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-2. 部位別:大腸

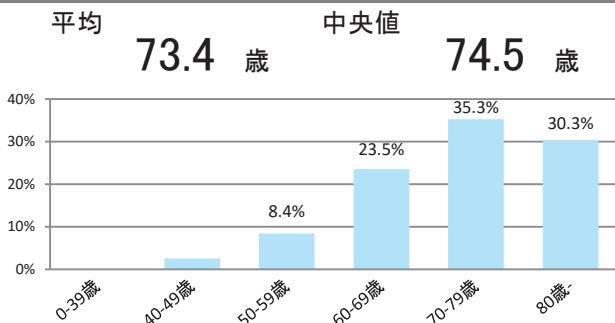
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	238
男性	134
女性	104



当院全登録数に占める大腸がんの割合 **14.4%**

3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

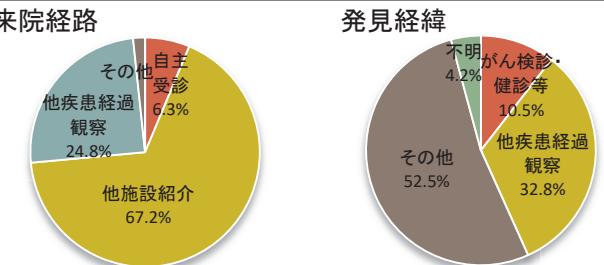
局在コード	部位名	登録数	局在コード	部位名	登録数
C18.0	盲腸	21	C19.9	直腸S状結腸	18
C18.1	虫垂	(1~3)	C20.9	直腸	55
C18.2	上行結腸	47			
C18.3	右結腸曲	0			
C18.4	横行結腸	15			
C18.5	左結腸曲	0			
C18.6	下行結腸	10			
C18.7	S状結腸	71			
C18.8	境界部病巣	0			
C18.9	詳細部位不明	0			

部位	割合
直腸	30.7%
結腸	60.1%
回盲部	9.2%

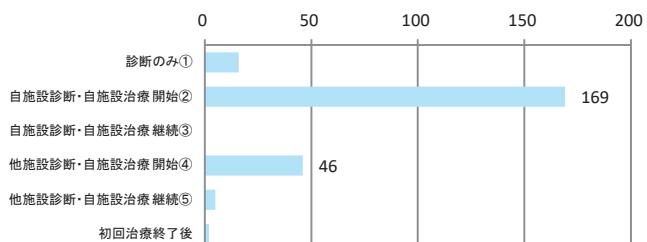
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



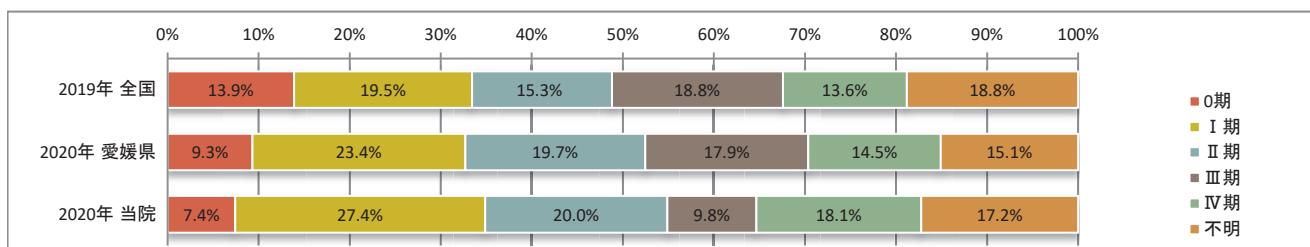
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	220	92.4%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	185	77.7%

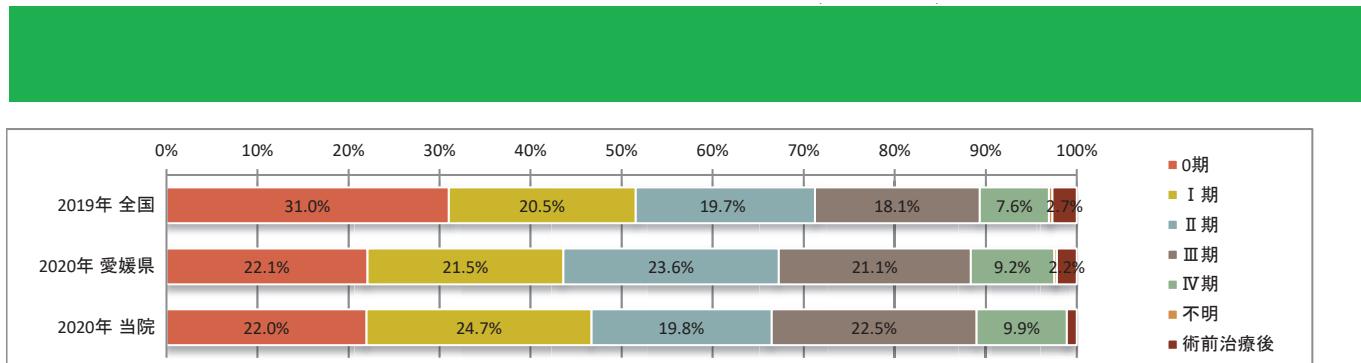
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	16	59	43	21	39	37	215
割合	7.4%	27.4%	20.0%	9.8%	18.1%	17.2%	



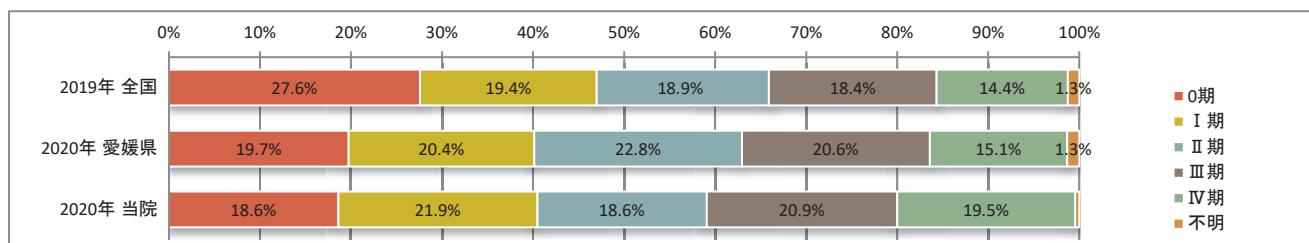
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	40	45	36	41	17	0	(1~3)
割合	22.0%	24.7%	19.8%	22.5%	9.3%	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	(1~3)	0	
割合	--	--	--	--	--	--	
							合計
							182



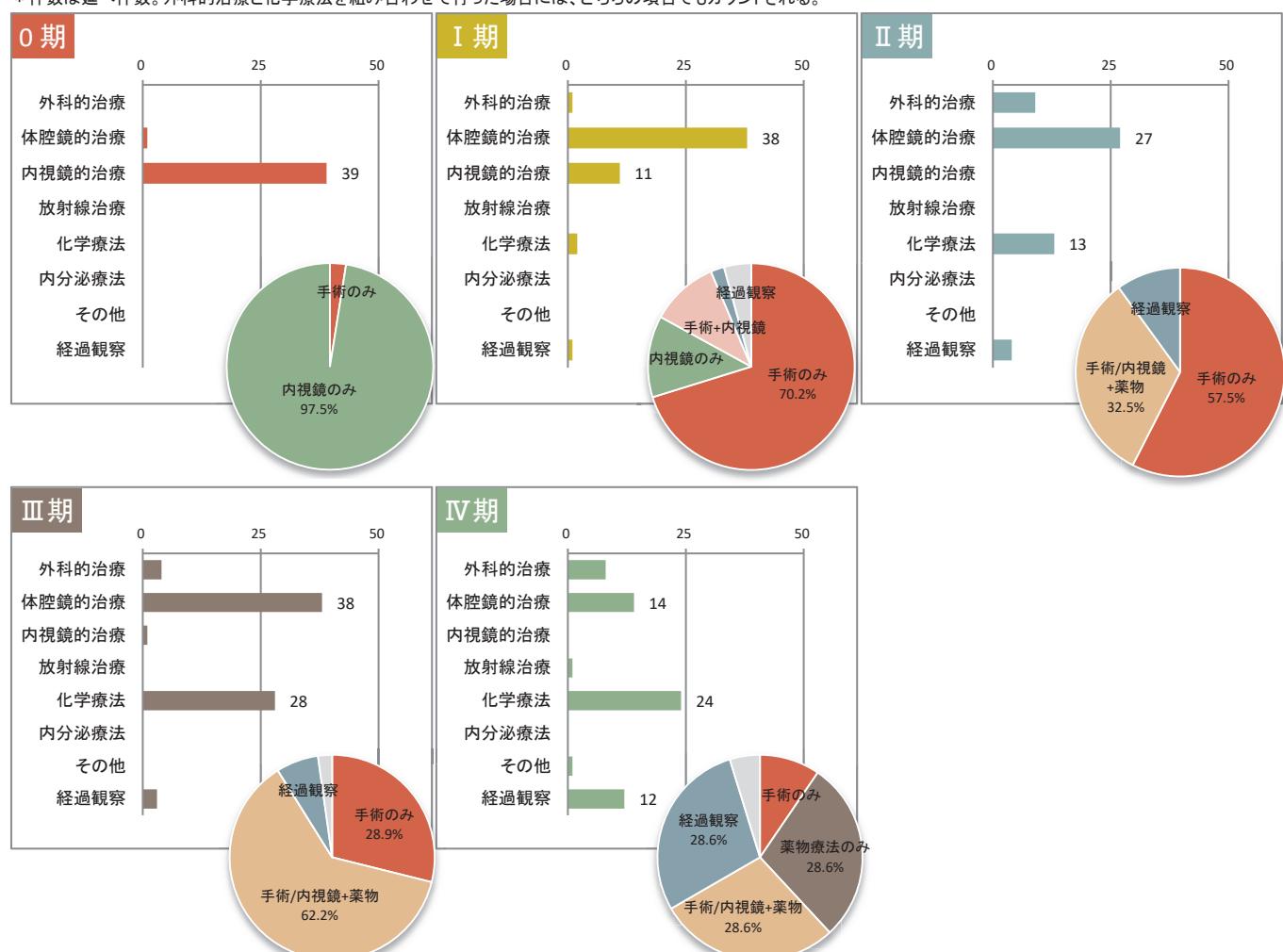
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	40	47	40	45	42	(1~3)	215
割合	18.6%	21.9%	18.6%	20.9%	19.5%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

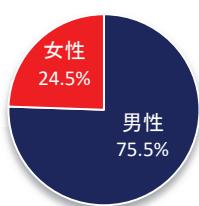
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-3. 部位別：肝臓

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	94
男性	71
女性	23



当院全登録数に占める肝臓がんの割合 5.7%

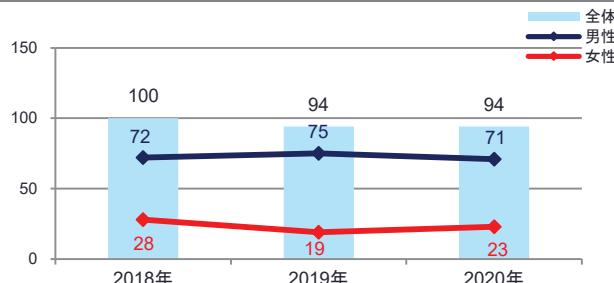
3. 年齢



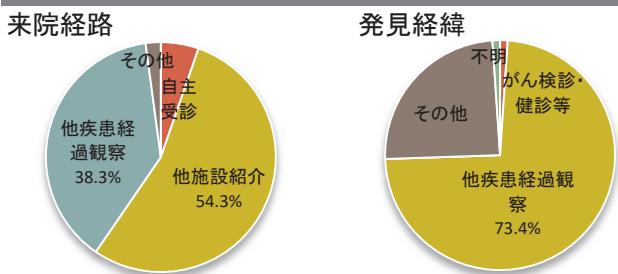
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C220	肝	78
C221	肝内胆管	16

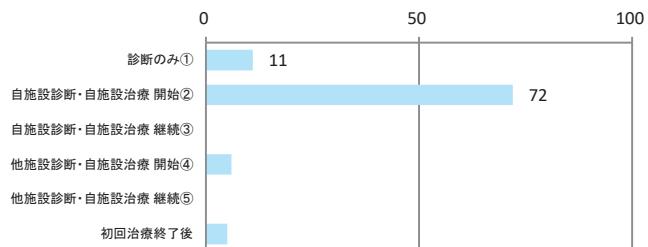
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



6. 症例区分

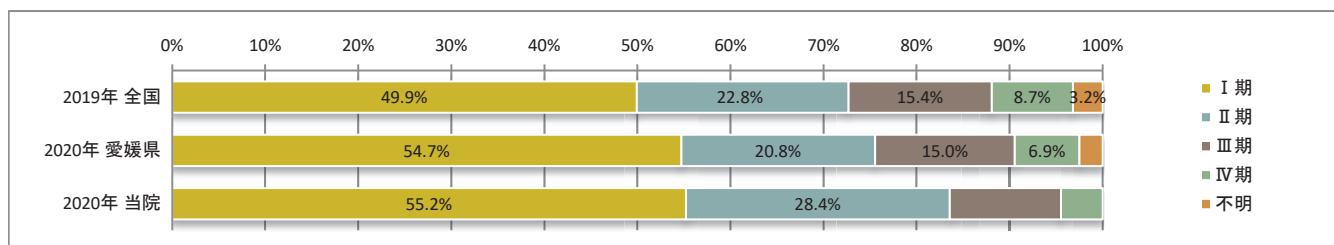


7. 病期分類対象の癌腫別登録数

局在コード	組織分類	登録数
C220	肝細胞癌	78
C221	肝内胆管癌	16

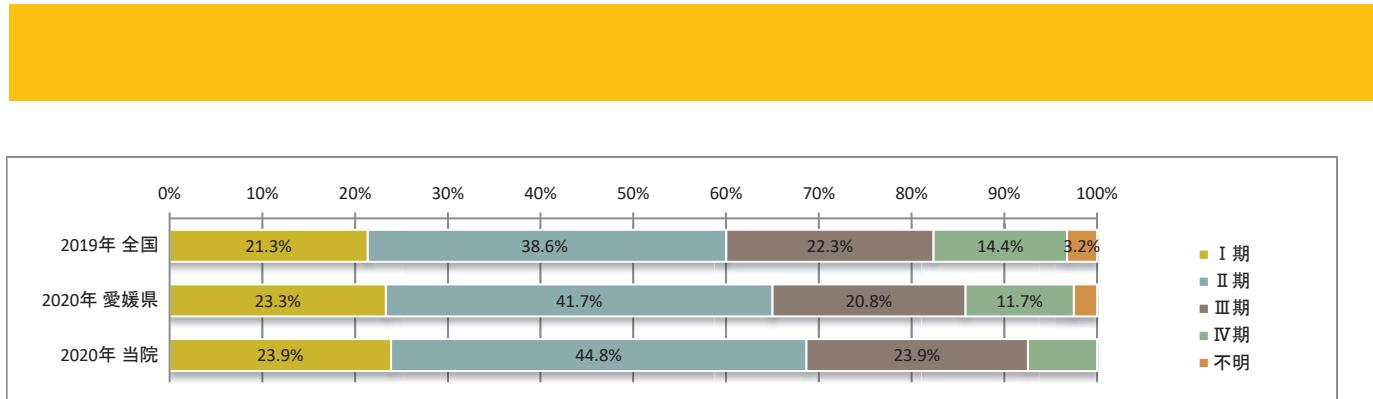
8. UICC TNM 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	合計				
		I期	II期	III期	IV期	不明
件数		37	19	(7~9)	(1~3)	0
割合		55.2%	28.4%	--	--	--



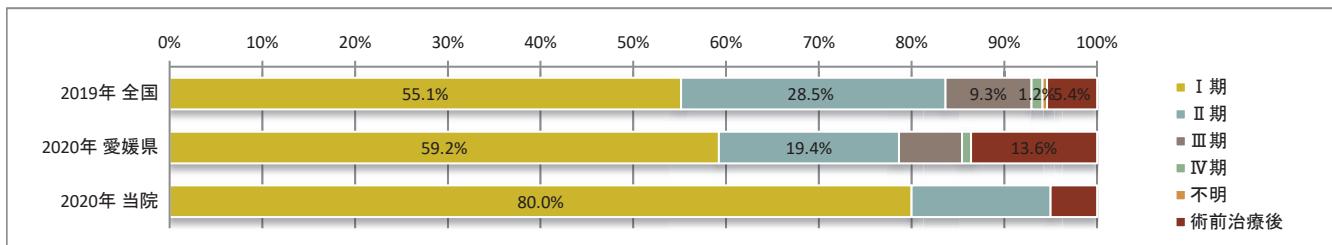
9. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設診断および初回治療実施症例)、病期分類対象のみ>

2020年	I期	合計				
		II期	III期	IV期	不明	合計
件数		16	30	16	(4~6)	0
割合		23.9%	44.8%	23.9%	--	67



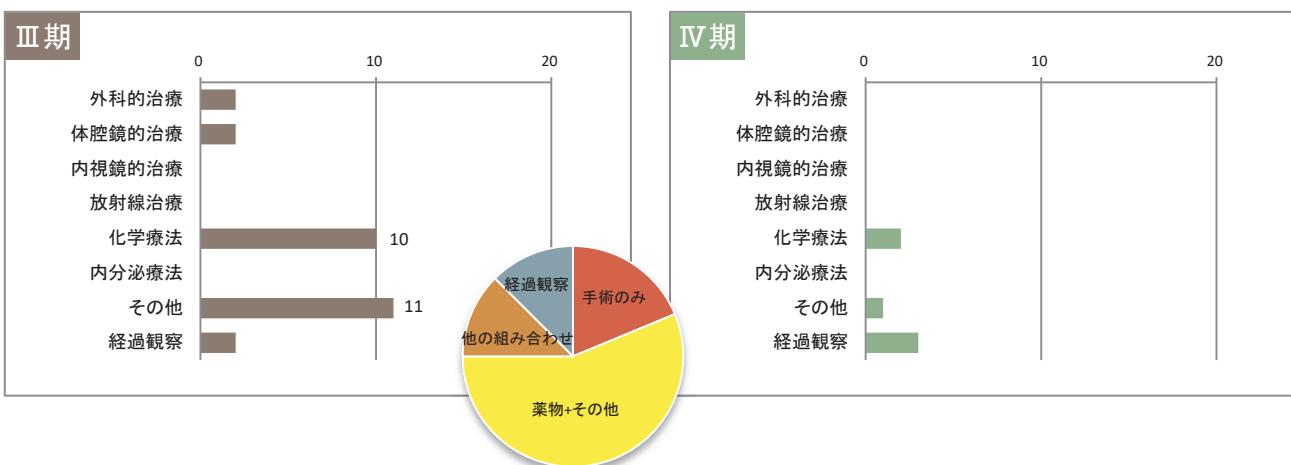
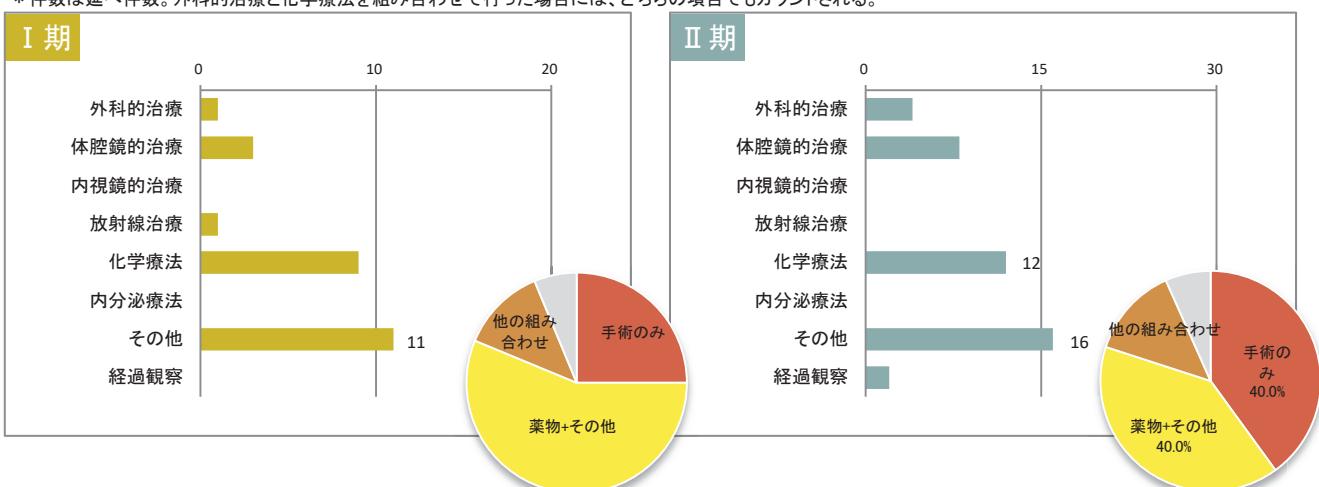
10. UICC TNM 肝細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

年	区分	術前治療後					合計
		I期	II期	III期	IV期	不明	
2020年	件数	16	(1~3)	0	0	0	(1~3)
2020年	割合	80.0%	--	--	--	--	--
		(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
	件数	0	0	0	0	0	20
	割合	--	--	--	--	--	



11. 取扱い規約 肝細胞癌の治療前ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

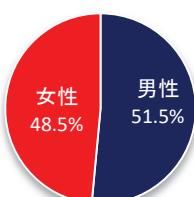
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-4. 部位別: 肺

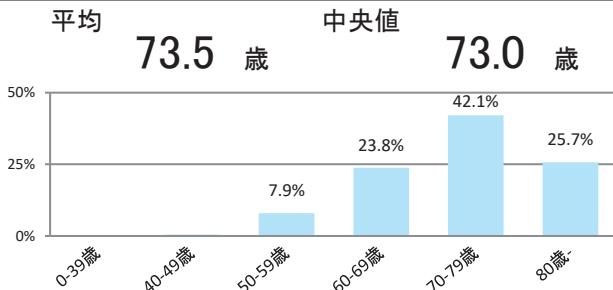
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	202
男性	104
女性	98



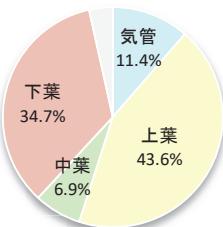
当院全登録数に占める肺がんの割合 12.2%

3. 年齢



5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C339	気管	0
C340	主気管支	23
C341	上葉・肺尖部	88
C342	中葉	14
C343	下葉	70
C348	肺の境界部病巣	0
C349	肺NOS (7~9)	



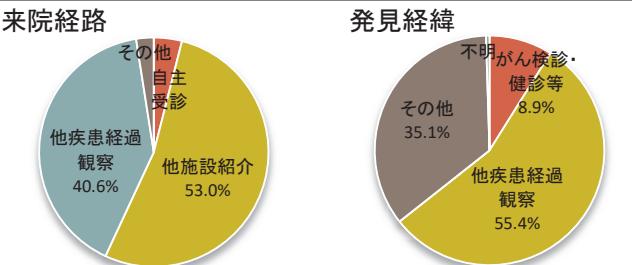
7. 病期分類対象の癌腫別登録数

組織分類	登録数
非小細胞癌	177
小細胞癌	25

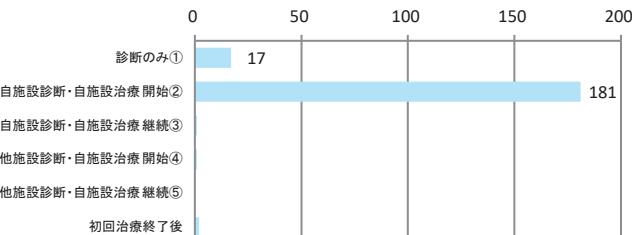
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	183	90.6%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	199	98.5%

8. UICC TNM 非小細胞癌の治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	10	79	11	16	42	(1～3)	160
割合	6.3%	49.4%	6.9%	10.0%	26.3%	--	



9. UICC TNM 非小細胞癌の術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後	合計
件数	20	55	(7~9)	(4~6)	(1~3)	0	0	92
割合	21.7%	59.8%	--	--	--	--	--	
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明		
件数	0	0	0	0	0	0		
割合	--	--	--	--	--	--		

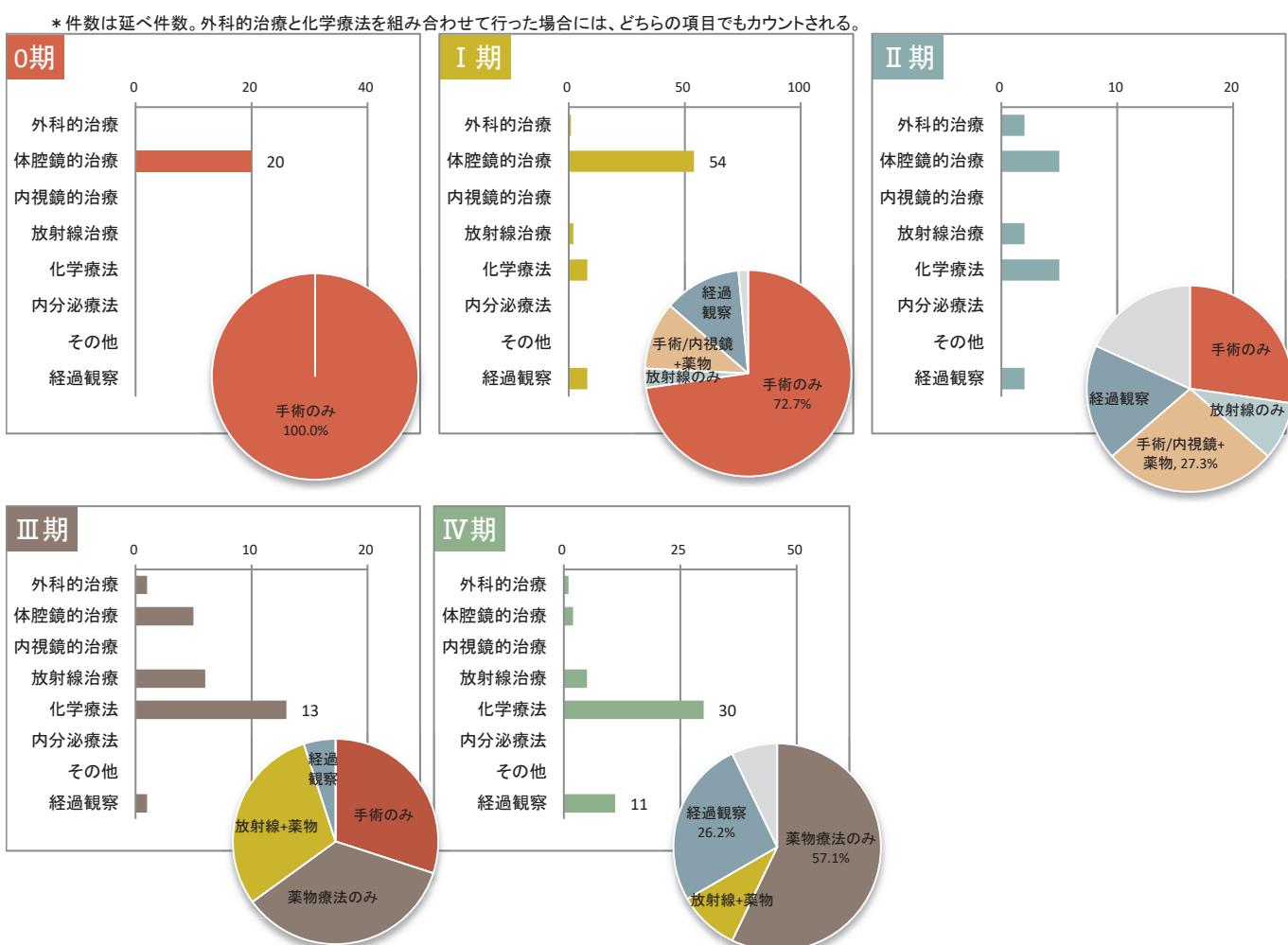


10. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	20	66	11	20	42	(1~3)	160
割合	12.5%	41.3%	6.9%	12.5%	26.3%	--	



11. UICC TNM 非小細胞癌の総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>



7-5. 部位別:乳房

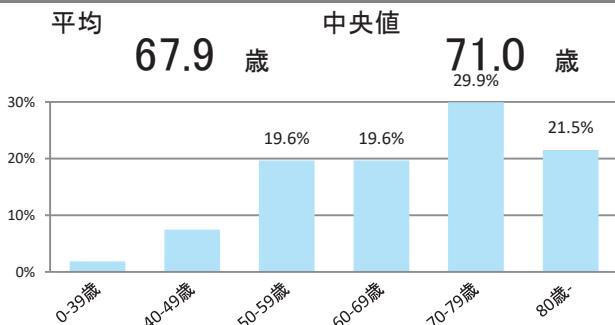
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	107
男性	0
女性	107



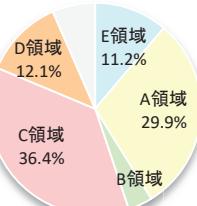
当院全登録数に占める乳がんの割合 6.5%

3. 年齢

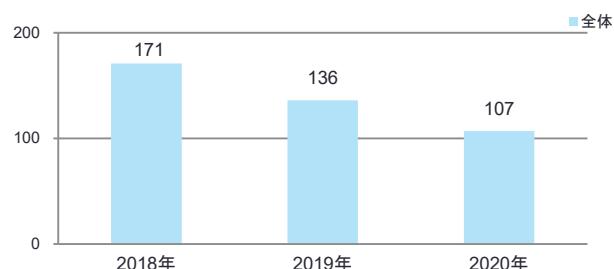


5. 詳細部位別登録数

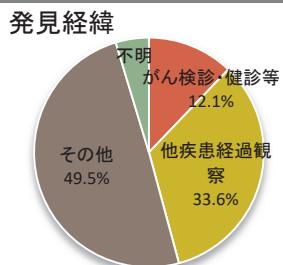
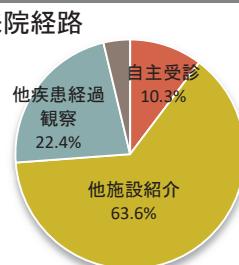
局在コード	部位名	登録数
C500	E'(乳頭部)領域	(4~6)
C501	E(乳輪部)領域	(7~9)
C502	A領域	32
C503	B領域	(4~6)
C504	C領域	39
C505	D領域	13
C506	C'領域	0
C508	境界部病巣	0
C509	乳房NOS	(7~9)



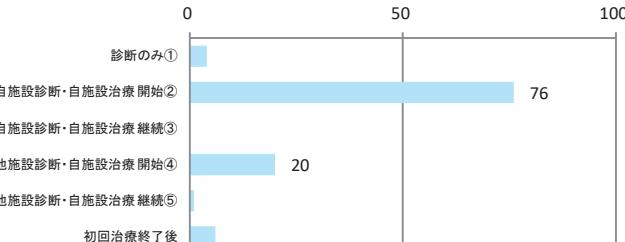
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



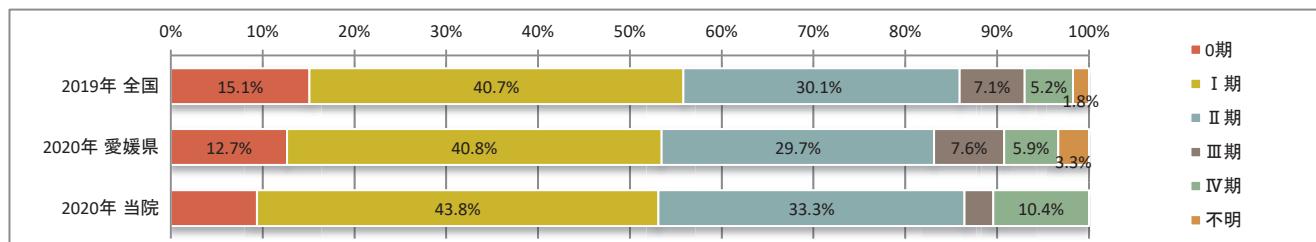
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	97	90.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	80	74.8%

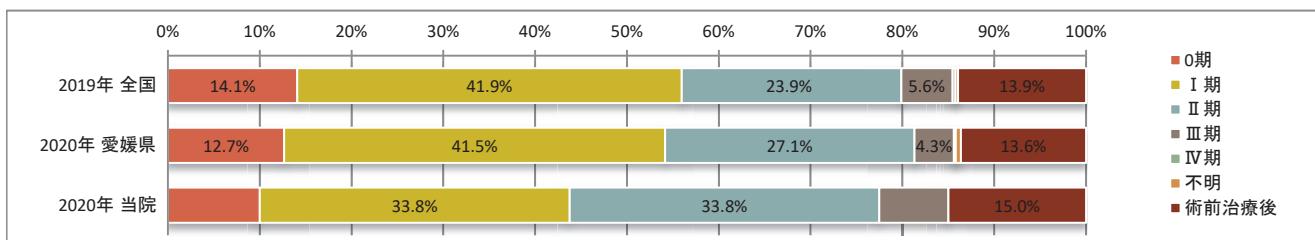
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(7~9)	42	32	(1~3)	10	0	96
割合	--	43.8%	33.3%	--	10.4%	--	



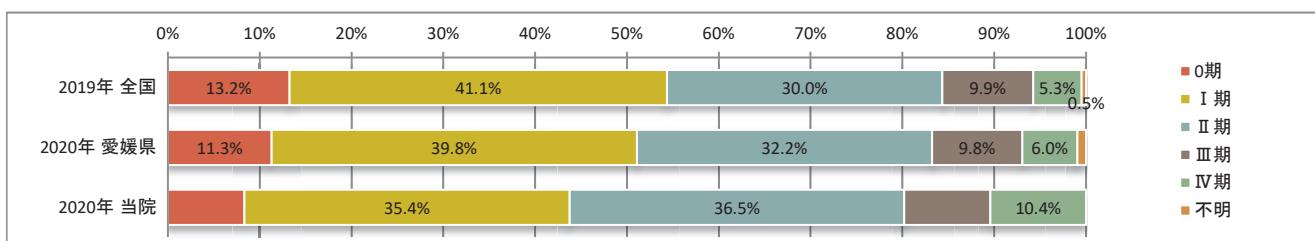
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	(7~9)	27	27	(4~6)	0	0	12
割合	--	33.8%	33.8%	--	--	--	15.0%
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	0	0	80
割合	--	--	--	--	--	--	



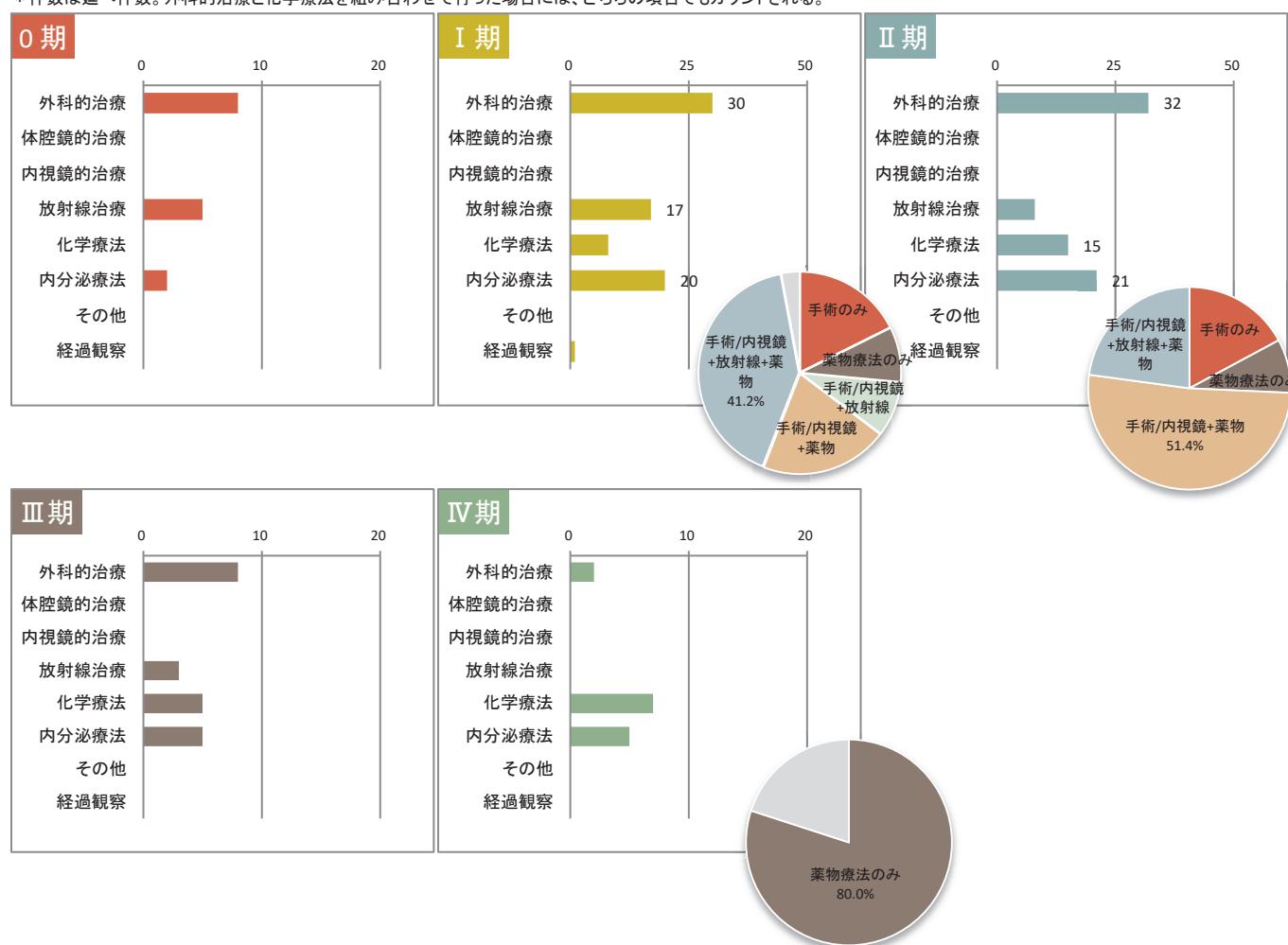
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	(7~9)	34	35	(7~9)	10	0	96
割合	--	35.4%	36.5%	--	10.4%	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



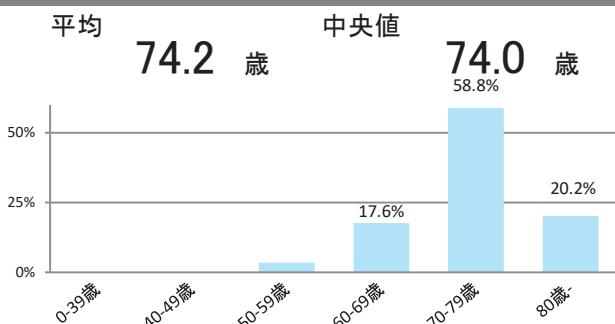
7-6. 部位別: 前立腺

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	119

当院全登録数に占める前立腺がんの割合 7.2%

3. 年齢



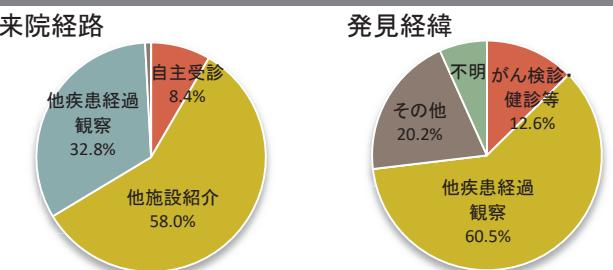
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C61.9	前立腺	119

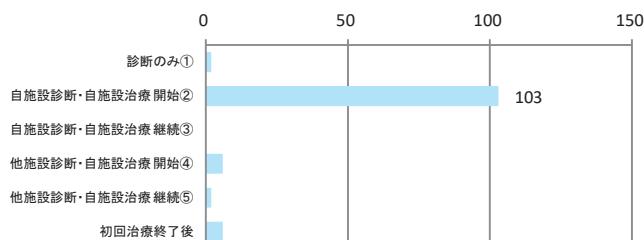
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



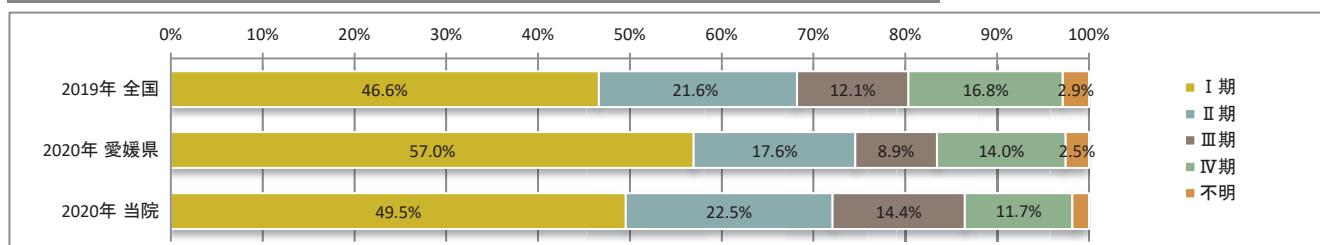
6. 症例区分



区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) (2)+(3)+(4)+(5)	111	93.3%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	105	88.2%

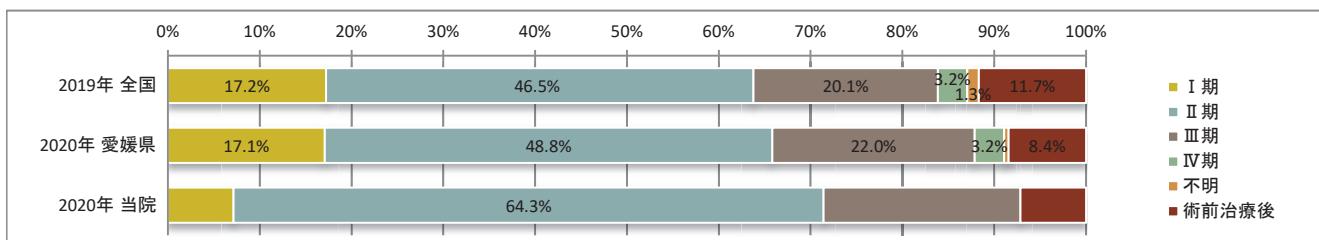
7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	合計					
	I期	II期	III期	IV期	不明	件数
件数	55	25	16	13	(1~3)	111
割合	49.5%	22.5%	14.4%	11.7%	--	--



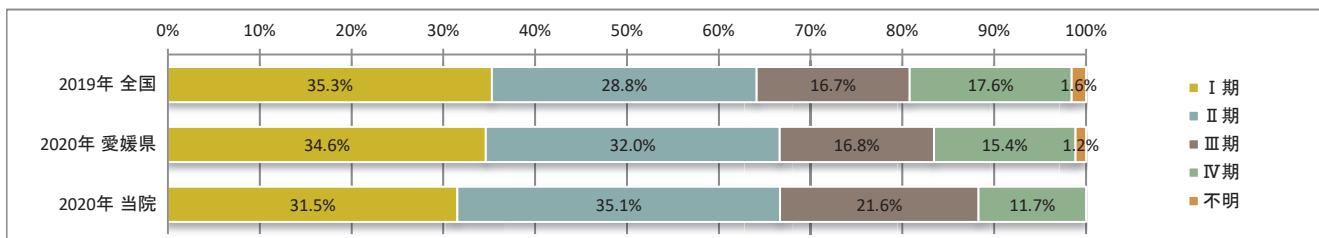
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	合計					
	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	(1~3)	27	(7~9)	0	0	(1~3)
割合	--	64.3%	--	--	--	--
件数	(他) I期	(他) II期	(他) III期	(他) IV期	(他) 不明	合計
割合	--	--	--	--	--	42



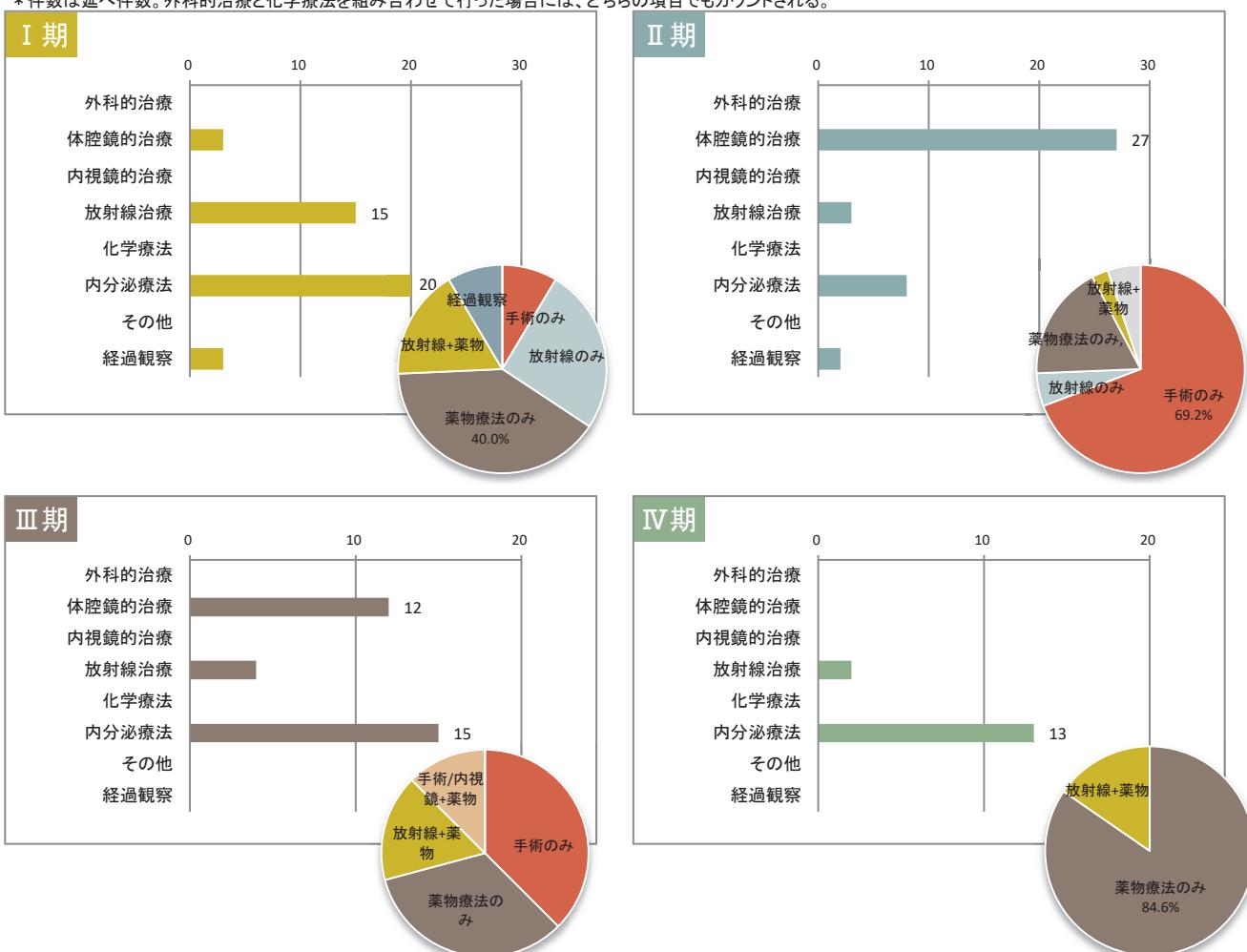
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	件数	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
		割合					
		35	39	24	13	0	111



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



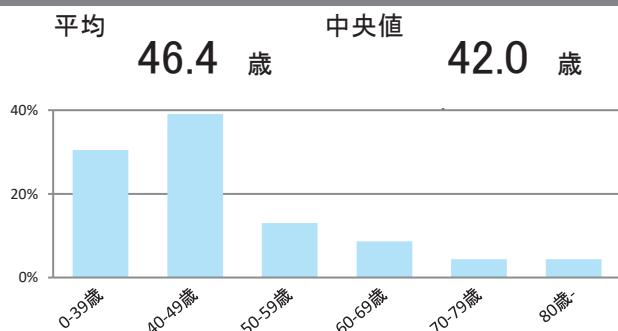
7-7. 部位別:子宮頸部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	23

当院全登録数に占める子宮頸がんの割合 **1.4%**

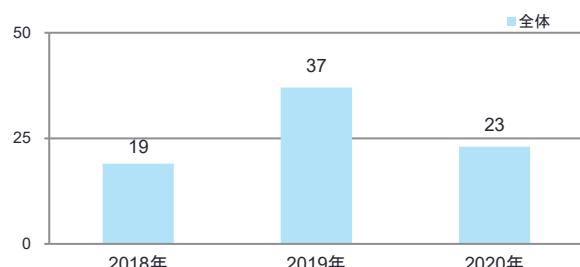
3. 年齢



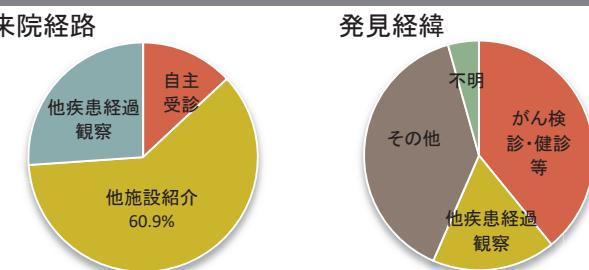
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C530	内頸部	0
C531	外頸部	0
C538	頸部境界部	0
C539	頸部詳細不明	23

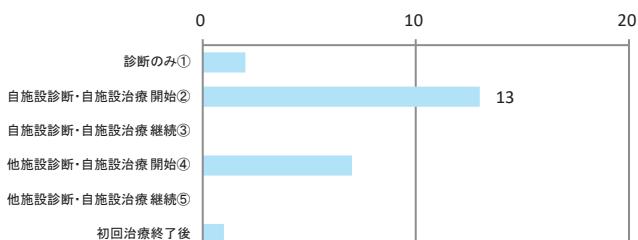
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



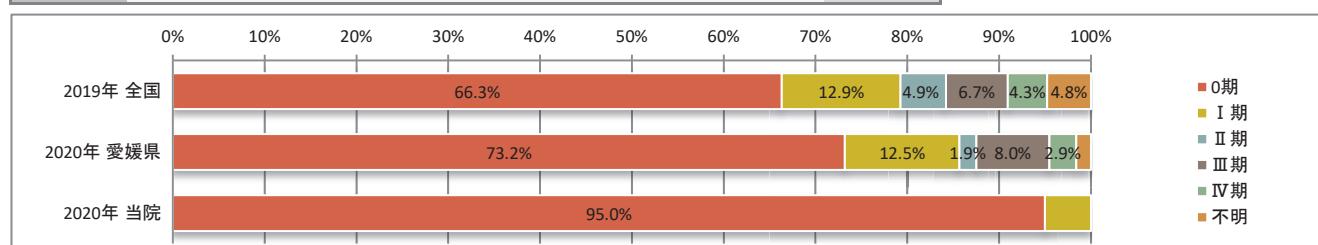
6. 症例区分



症例区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	20	87.0%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	15	65.2%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	19	(1~3)	0	0	0	0	20
割合	95.0%	--	--	--	--	--	



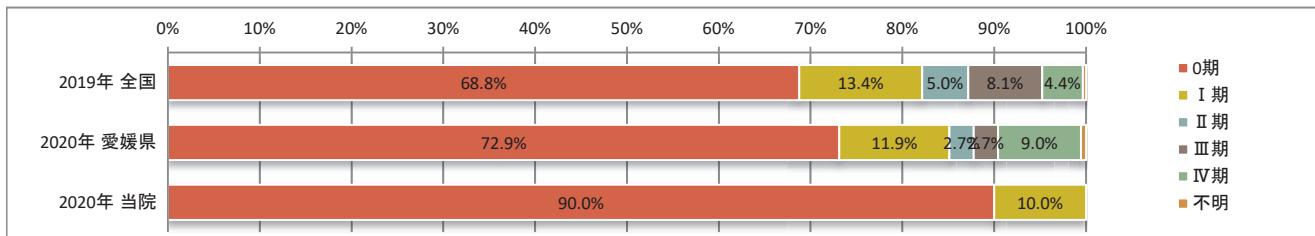
8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	術前治療後
件数	17	(1~3)	0	0	0	0	0
割合	89.5%	--	--	--	--	--	--
	(他)0期	(他)I期	(他)II期	(他)III期	(他)IV期	(他)不明	
件数	0	0	0	0	0	0	19
割合	--	--	--	--	--	--	



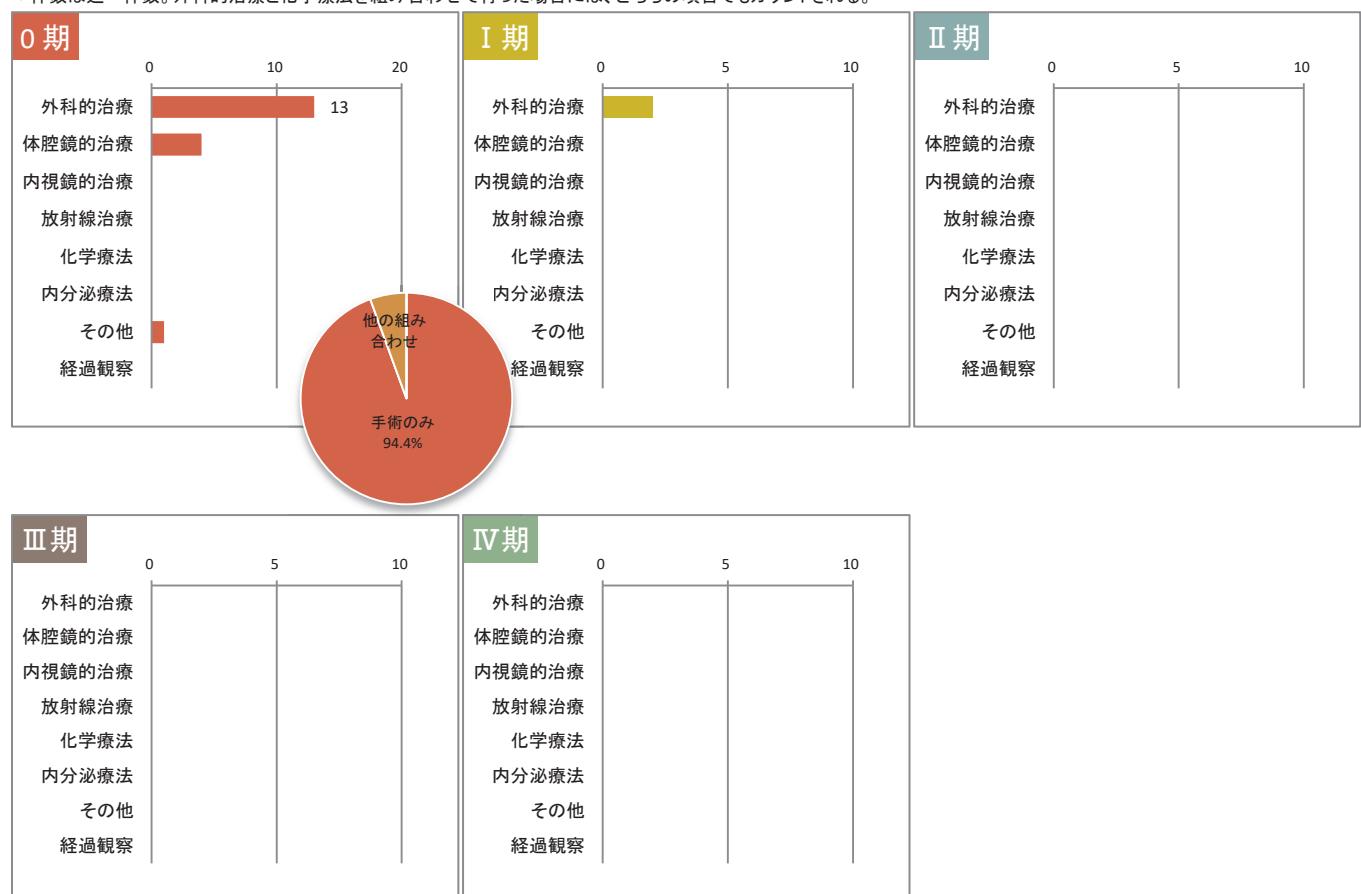
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	合計
件数	18	(1~3)	0	0	0	0	20
割合	90.0%	--	--	--	--	--	



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



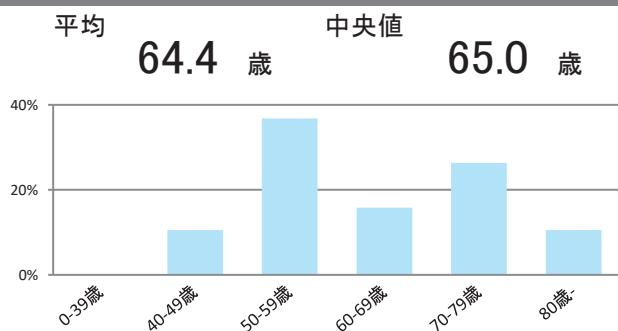
7-8. 部位別: 子宮体部

1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	19

当院全登録数に占める子宮体がんの割合 1.2%

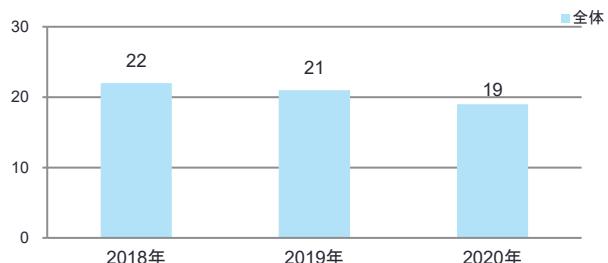
3. 年齢



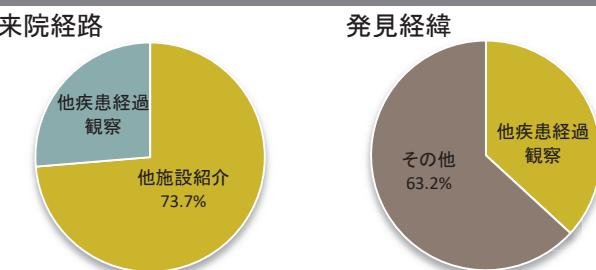
5. 詳細部位別登録数

局在コード	部位名	登録数
C540	子宮峡部	0
C541	子宮内膜	19
C542	子宮筋層	0
C543	子宮底部	0
C548	体部境界部	0
C549	体部詳細不明	0

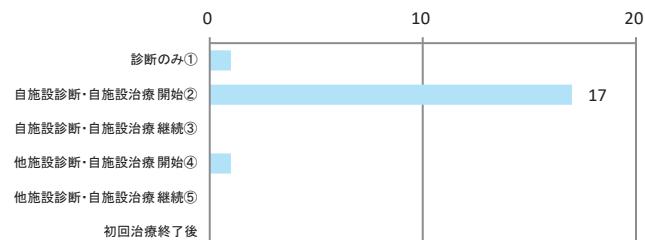
2. 登録数の年次推移



4. 来院経路と発見経緯



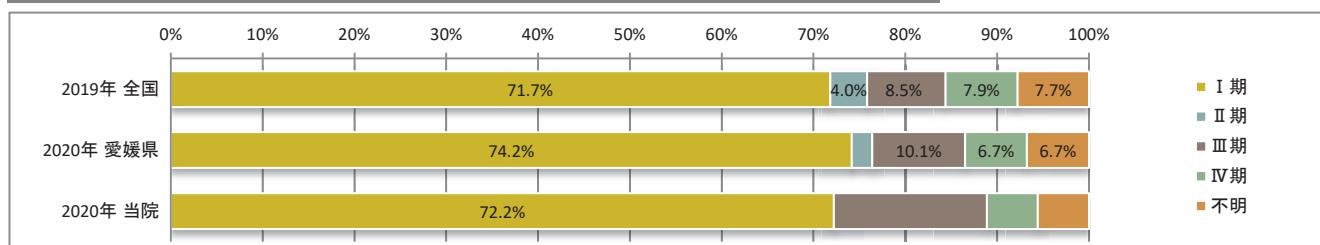
6. 症例区分



症例区分	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	18	94.7%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	18	94.7%

7. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

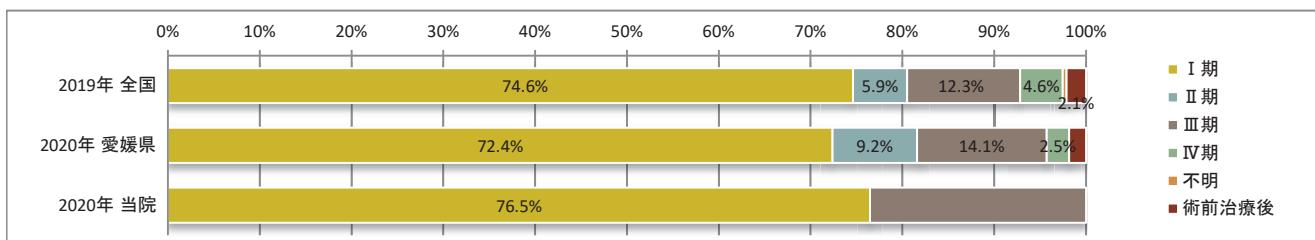
2020年	I 期					合計
	件数	II 期	III 期	IV 期	不明	
割合	72.2%	--	--	--	--	18



8. UICC TNM 術後病理学的ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

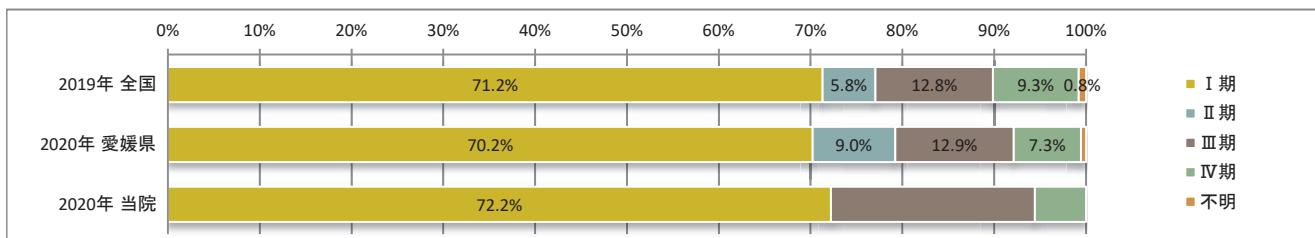
2020年	I 期					術前治療後
	II 期	III 期	IV 期	不明	術前治療後	
件数	13	0	(4~6)	0	0	0
割合	76.5%	--	--	--	--	--

2020年	(他) I 期					合計
	(他) II 期	(他) III 期	(他) IV 期	(他) 不明		
件数	0	0	0	0	0	17
割合	--	--	--	--	--	--



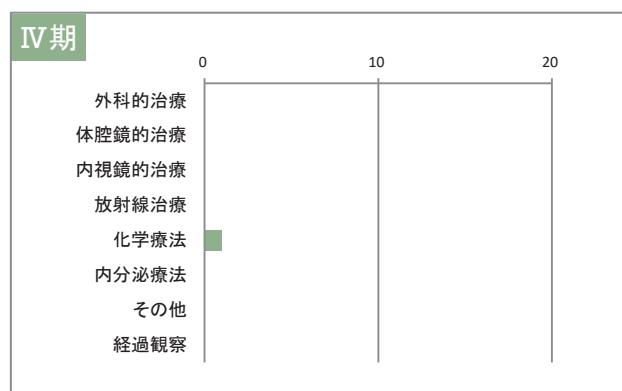
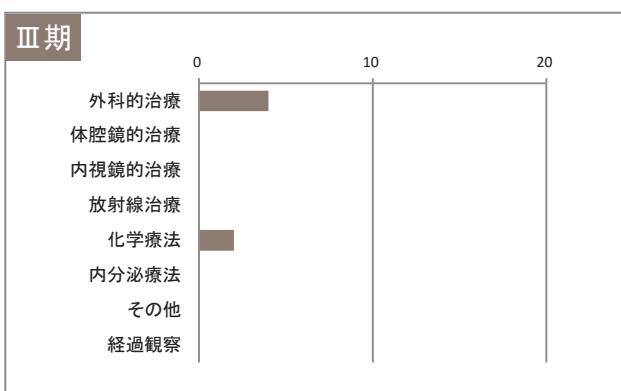
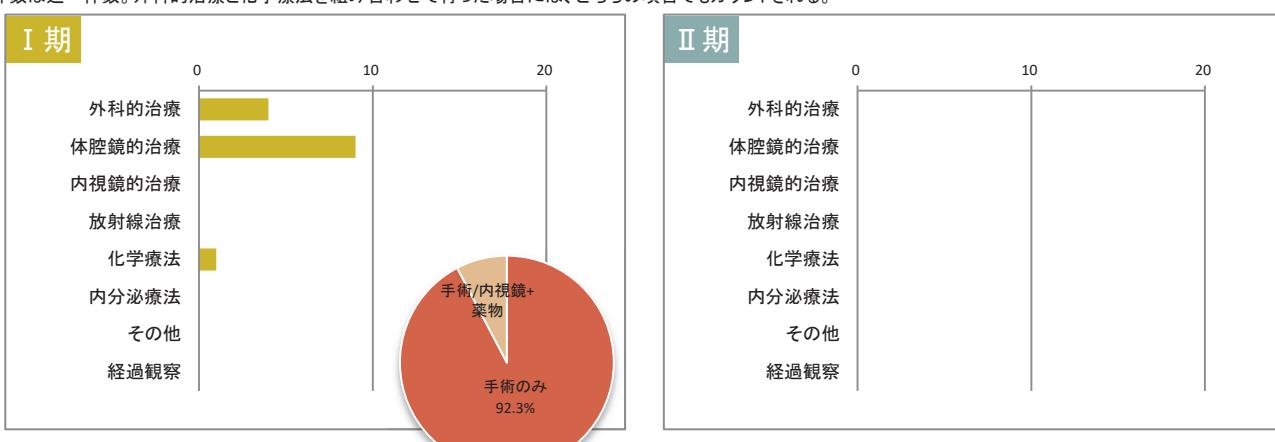
9. UICC TNM 総合ステージ別登録 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ>

2020年	I期 II期 III期 IV期 不明 合計						
	件数	13	0	(4~6)	(1~3)	0	18
割合	72.2%	--	--	--	--		



10. UICC TNM 総合ステージ別 治療の件数 <症例区分20~31(自施設責任症例)、病期分類対象のみ、自施設で実施した初回治療のみ>

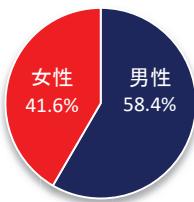
* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



7-9. 部位別: 血液腫瘍

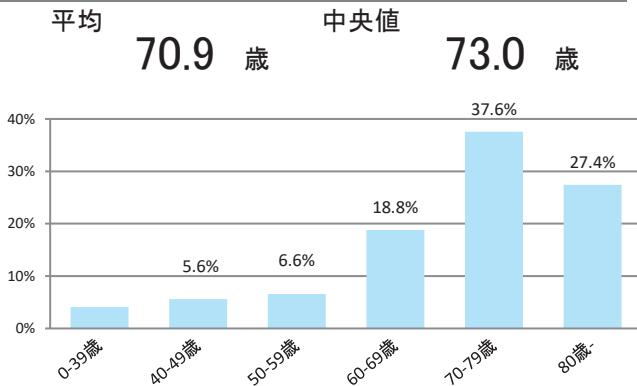
1. 登録数と男女割合

登録数	
全体	197
男性	115
女性	82

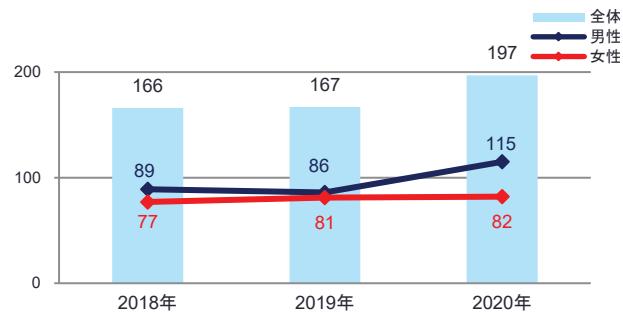


当院全登録数に占める血液腫瘍の割合 11.9%

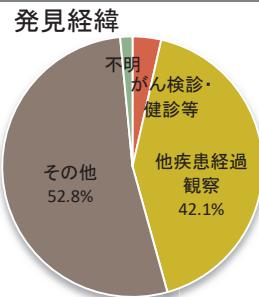
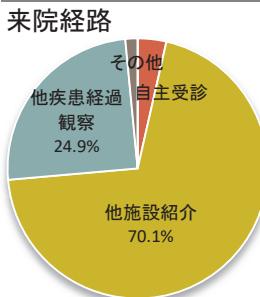
3. 年齢



2. 登録数の年次推移

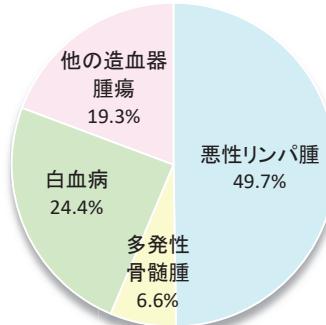


4. 来院経路と発見経緯



5. 分類別登録数

	2018年	2019年	2020年
悪性リンパ腫	77	73	98
多発性骨髄腫	20	14	13
白血病	33	37	48
他の造血器腫瘍	36	43	38

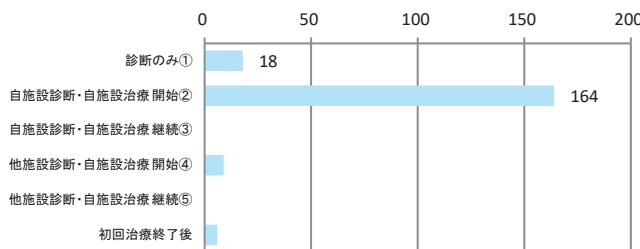


2020年分類別登録の割合

6. 詳細組織形態別登録数(WHO2017)

WHO2017に基づく分類		2018年	2019年	2020年
骨髓	骨髓増殖性疾患、肥満細胞症	11	14	19
系	骨髓異形成・骨髓増殖性腫瘍・骨髓異形成症候群	31	33	33
腫瘍	急性骨髓性白血病及び関連前駆細胞腫瘍	19	21	24
	分化系統不明瞭な急性白血病	0	0	0
	その他骨髓系腫瘍	(1~3)	0	0
リ	前駆型リンパ球系腫瘍	(4~6)	(1~3)	(4~6)
ン	成熟B細胞腫瘍	63	64	82
パ	形質細胞腫瘍	19	14	13
系	成熟T細胞およびNK細胞腫瘍	13	11	11
腫	ホジキンリンパ腫	(1~3)	(1~3)	(4~6)
瘍	その他リンパ系腫瘍	(1~3)	(4~6)	(1~3)
	組織球及び樹状細胞腫瘍	0	0	0
	その他(上記で分類できないもの)	0	0	0

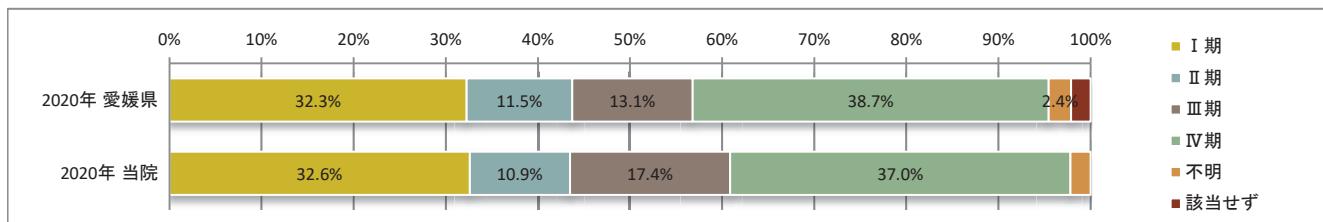
7. 症例区分



	登録数	割合
自施設責任症例 (自施設で初回治療が実施された症例) ②+③+④+⑤	173	87.8%
自施設でがんが診断された症例 ①+②+③	182	92.4%

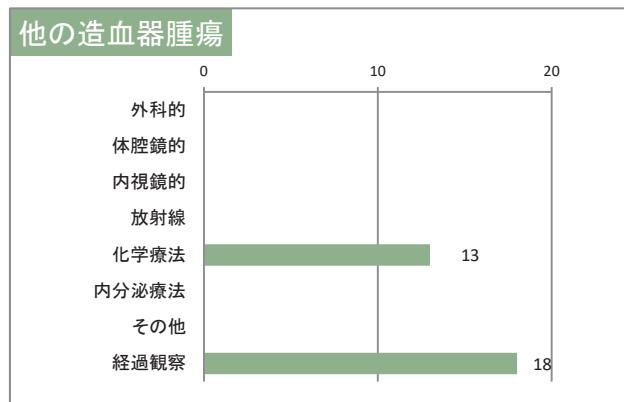
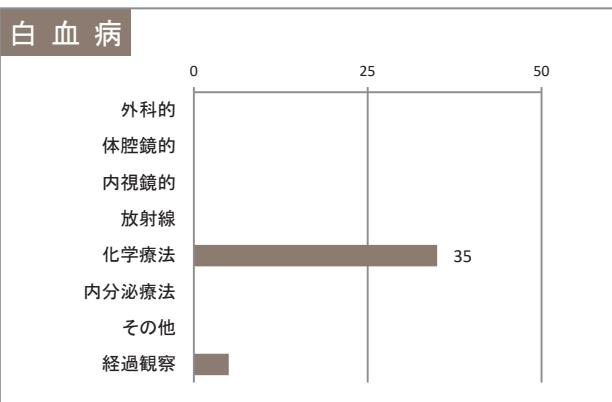
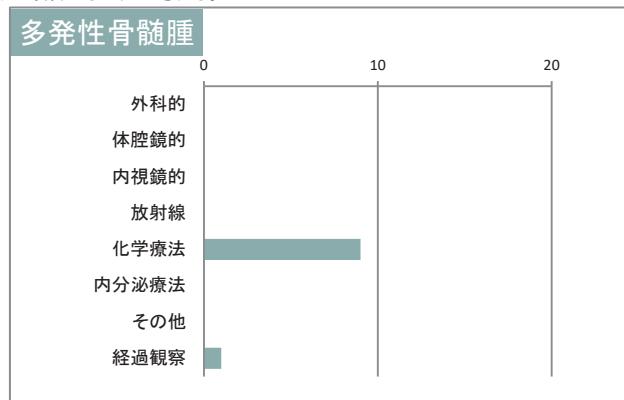
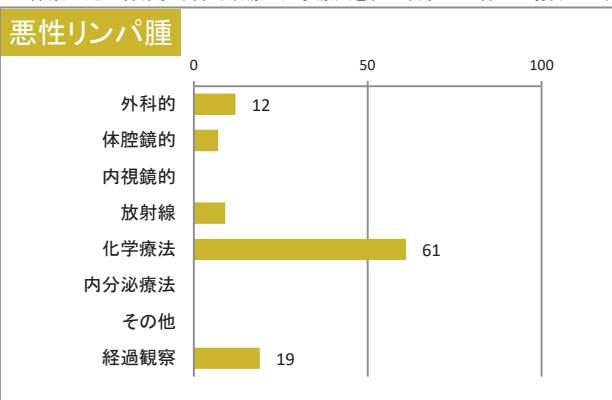
8. UICC TNM 治療前ステージ別登録 <症例区分20～31(自施設責任症例)、悪性リンパ腫のみ>

2020年	I期	II期	III期	IV期	不明	該当せず	合計	
	件数	30	10	16	34	(1～3)	0	92
割合	32.6%	10.9%	17.4%	37.0%	--	--		



9. 治療の件数 <症例区分20～31(自施設責任症例)、自施設で実施した初回治療のみ>

* 件数は延べ件数。外科的治療と化学療法を組み合わせて行った場合には、どちらの項目でもカウントされる。



説明ポイントの解説

説明ポイント①

2020年診断症例は前年と比べ、登録件数が減少している

2020年診断症例の全登録数は前年の登録件数と比較し1,666件（前年1,860件）と194件減少している。登録件数の減少の要因として、新型コロナウイルスの影響による患者自身の「受診控え」が考えられる。

男女比では、男性57.1%（前年59.7%）が低くなっている。登録数の年次推移（部位別）において、前立腺が昨年と比べ59件減少していることが男性比に影響しているといえる。

説明ポイント②

部位別登録件数では、肺、血液腫瘍の登録件数が増加し、胃、前立腺が減少

肺がんは2016年の154件から2020年には202件、血液腫瘍の2016年139件から2020年には197件と年々増加傾向にある。2019年と2020年との比較で大幅に登録件数が減少している部位が胃178件（前年241件）、前立腺119件（前年178件）と減少している。検診で発見される事の多い部位において減少がみられた。コロナ禍の「検診控え」も一因と考えられる。

部位別登録数の上位5部位においても、2019年は大腸、胃、肺、前立腺、血液腫瘍の順であったが、2020年では大腸、肺、血液腫瘍、胃、前立腺と上位5部位に変化がみられた。

説明ポイント③

愛媛県全体・全国値と比較し、自施設診断・自施設初回治療の割合が高い

当院では、自施設診断・自施設初回治療開始の割合が愛媛県全体、全国値と比較し例年高い割合を示していたが、2019年（70.2%）から2020年（78.3%）では8.1%プラスされ特に高い割合であった。

併せて自施設責任症例の割合においても愛媛県（82.2%）と比較し当院は91.1%と高い割合であった。

説明ポイント④

部位別の自施設責任症例の割合は胃が高い割合を示す

自施設責任症例で90%以上を示す部位が胃（95.5%）、大腸（92.4%）、肺（90.6%）、乳房（90.7%）、前立腺（93.3%）、子宮体部（94.7%）と高かった。初回治療の過程における当院が果たした役割は大きいといえる。

説明ポイント⑤

担当医療圏の登録割合が高い

当院の担当医療圏は、松山圏域と八幡浜・大洲圏域である。担当医療圏の全登録数に占める担当医療圏の登録数割合は、94.8%（昨年93.9%）と高い。なかでも当院所在地である松山圏域の割合は87.0%（昨年86.7%）であった。当院が地域密着型の病院として機能していると考えられる。

説明ポイント⑥**医療圏別部位別の登録件数は、松山医療圏が最も多い**

部位ごとの松山医療圏の登録では、大腸 212 件と多く、続いて肺 177 件、血液腫瘍 158 件である。部位別医療圏域別の登録割合で松山医療圏をみると、乳房（91.6%）、子宮頸部（91.3%）、前立腺（90.8%）であった。当院の担当医療圏（松山圏域、八幡浜・大洲圏域）でも、ほぼ松山医療圏の患者で占められている。

説明ポイント⑦**年齢階級別登録数の年次推移は、各年齢階級（50-59 歳除く）減少している**

年齢階級別登録数の年次推移では、2017 年診断症例から年々高齢化が進んできている。2020 年では 50-59 歳を除いて他の年齢階級で登録数が減少している。ただし、登録割合愛媛県全体・全国値の比較では、年齢階級別の割合は 70 歳以上が愛媛県と比較し当院が高い。全国集計年齢階級別の割合では 75 歳以上の階級において当院は高く例年と同等である。

説明ポイント⑧**男女別年齢階級別登録年次推移では、男性は各年齢階級で登録数の減少がみられた**

男女別年齢階級別登録数では、男性 70-79 歳の登録数が最も減少しており、女性では

0-39 歳が最も減少している。2019 年診断症例と比べ、男性では各年齢階級で登録数が減少している。

説明ポイント⑨**来院経路では他施設紹介の登録件数が減少している**

来院経路の登録数では、「他施設紹介」が 1,060 件（前年 1,133 件）と最も減少しており、次いで「他疾患経過観察」が 455 件（前年 519 件）、「自主受診」が 105 件（前年 145 件）と減少していた。

自主受診、他施設紹介の減少は、新型コロナウイルスの影響の一つとして、患者の流動性も減っていると考えられる。

説明ポイント⑩**発見経緯ではがん検診・健康診断・人間ドックの登録件数と割合が減少している**

発見経緯では、「がん検診・健康診断・人間ドック」が 128 件 7.8%（前年 172 件 9.4%）で登録数、割合ともに減少している。また「他疾患経過観察中」は、699 件 42.4%（前年 786 件 43.0%）で登録数の減少は大きいが割合は 0.6%と減少幅は小さかった。

発見経緯においても新型コロナウイルスの影響による受診控え、検診控えの傾向が減少の一因と考えられる。